

健康とくらしの調査
報告書

令和5年3月

余市町

目次

1. はじめに.....	1
2. 本報告書を読む際の注意.....	1
3. 調査実施の概要.....	2
4. 集計数・集計項目・回答の修正方法について.....	2
5. 要介護リスク・就労・社会参加・社会的ネットワーク.....	8
6. 要介護リスク・就労・社会参加・社会的ネットワークの小地域間比較.....	28
7. 保険者独自項目の調査結果.....	36

1. はじめに

本邦は、2040年に向けて生産年齢人口が急減する一方で、85歳以上人口が急速に増加していくことが見込まれ、高齢者の急増だけではなく、現役世代の急減という局面に変化していくことが予想されている。厚生労働省は、団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指すことを指針として提示している。生産年齢人口が減少し介護人材が不足していくなかで、住民がより長く元気に地域で暮らしていけるよう介護予防や健康づくりを進めていくことが求められる。そのためにも、様々な生活上の困難を支え合う地域共生社会の実現にむけて、地域の実情に応じて仕組みや取り組みをデザインする「地域デザイン」機能を強化（保険者機能の強化）に取り組んでいく必要がある。地域デザイン機能の強化から、健康寿命の延伸、介護予防・地域づくりの取組みに展開していくことが期待される。

本報告書は、日本老年学的評価研究（JAGES）の研究知見に基づき、特に介護予防や地域づくりにフォーカスをして、本調査結果としてまとめたものである。

2. 本報告書を読む際の注意

- (1) 調査結果の数値は原則として回答率（%）を表記し、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記している。このため、単数回答の合計が100.0%とならない場合がある。また、一人の回答者が2つ以上の回答をしてもよい質問（複数回答）では、回答率が通常100.0%を上回る。
- (2) 調査結果の分析記述においては、誤差を考慮し、回答者数が30人未満の場合は、分析の対象からは除いている。また、本報告書全体について、分析記述の基本的考え方は、6頁の「4.（4）分析記述の基本的考え方」を参照。
- (3) 分析記述やグラフ・数表上で次の略称を使用している。
 - n：回答者の数
 - －：回答者がいないもの
 - 0.0：表章単位に満たないが、回答者がいるもの
- (4) 「7. 保険者独自項目の調査結果」及び「(資料) 基礎集計表」においては、スペースの都合上、調査票の質問文や選択肢を一部短縮している部分がある。

3. 調査実施の概要

調査対象者：令和4年10月6日時点¹で65歳以上である高齢者

対象者数：5,363人

調査方法：郵送法

調査期間：令和4年11月7日～令和4年11月28日²

回収結果（回収率）：3,004票（56.0%）

4. 集計数・集計項目・回答の修正方法について

（1）集計数及び集計についての注意

投函締切の1ヶ月後までに自治体に返送された調査票のうち、調査票IDを切り取って返送された調査票は集計対象外とし、それ以外を有効票とした。属性クロス分析に使う対象者の年齢と性別は調査対象者データを用いて集計を行った。なお、保険者の中には要介護者と要支援者、事業対象者も調査対象者に含めている保険者がある³。本来ならば同一条件で集計するところであるが、本報告書ではこれらの対象者の回答も合わせて集計している。そのため調査結果の分析の「第1期参加自治体」全体での割合との比較を読む際は留意する必要がある。回収数と集計数の結果は以下のとおりである。

市町村	回収数	集計数
余市町	3,004	2,963

¹ この基準日は余市町が調査対象者の抽出を行った日であり、基準日は自治体によってそれぞれ異なる。

² 本調査は66介護保険者75市町村が参加し、11月7日～12月26日の調査期間を3分割して実施された。11月7日～11月28日に調査を実施した保険者は、余市町、栗山町、大雪地区広域連合、苫前町(北海道)、三戸町(青森県)、大洗町(茨城県)、加賀市(石川県)、中央市、早川町(山梨県)、小山町(静岡県)、碧南市(愛知県)、豊中市(大阪府)、神河町(兵庫県)、天理市、王寺町、広陵町(奈良県)、智頭町(鳥取県)、松浦市(長崎県)、御船町(熊本県)、津久見市、竹田市、九重町(大分県)の22保険者である。なお、10月に民生委員による配布回収法で実施した平戸市(長崎県)を加えた23保険者を「第1期参加自治体」と表記する。

³ 「第1期参加自治体」の調査対象者の詳細は7頁の「4.（5）各保険者の調査対象者」を参照。

(2) 各集計項目 (20 項目) の定義

各集計項目の定義は以下のとおりである。

各集計項目分析は、「第 1 期参加自治体」全体での割合との比較を中心に行った。

「要介護リスク」

要介護リスク	設問番号	定義
①フレイルあり割合 (基本チェックリスト 8 項目以上)	問 4-1 で「できない」 問 4-2 で「できない」 問 4-5 で「できない」 問 4-10 で「いいえ」／問 4-11 で「いいえ」 問 3-6 で「できない」 問 3-7 で「できない」 問 4-14 で「できない」 問 3-4 で「何度もある」「1 度ある」 問 3-5 で「とても不安である」「やや不安である」 問 10-5 で「はい」／問 10-4 より、BMI=18.5 未満 問 2-1 で「はい」／問 2-2 で「はい」 問 2-3 で「はい」 問 3-1 で「月 1~3 回」「年に数回」「していない」 問 3-2 で「とても減っている」「減っている」 問 4-15 で「はい」／問 4-16 で「いいえ」 問 4-17 で「はい」／問 9-16 で「はい」 問 9-17 で「はい」／問 9-18 で「はい」 問 9-19 で「はい」／問 9-20 「はい」	25 項目中 8 項目以上該当
②運動機能低下者割合	問 3-6 で「できない」／問 3-7 で「できない」 問 4-14 で「できない」 問 3-4 で「何度もある」「1 度ある」 問 3-5 で「とても不安である」「やや不安である」	5 項目中 3 項目以上該当
③1 年間の転倒あり割合	問 3-4 で「何度もある」「1 度ある」	1 項目中 1 項目該当
④物忘れが多い者の割合	問 4-18 で「はい」	1 項目中 1 項目該当
⑤閉じこもり者割合	問 3-1 で「月 1~3 回」「年に数回」「していない」	1 項目中 1 項目該当
⑥うつ割合	問 9-16 で「はい」／問 9-17 で「はい」 問 9-18 で「はい」／問 9-19 で「はい」 問 9-20 で「はい」	5 項目中 2 項目以上
⑦口腔機能低下者割合	問 2-1 で「はい」／問 2-2 で「はい」 問 2-3 で「はい」	3 項目中 2 項目以上該当
⑧低栄養の傾向	問 10-4 より、BMI=18.5 未満	1 項目中 1 項目該当

<p>⑨要支援・要介護リスク点数の平均点（要支援・要介護リスク評価尺度による算出）</p>	<p>調査対象者データで「男性」が1点、 調査対象者データで「65-66歳」が0点、「67-68歳」が1点、「69歳」が3点、「70歳」が4点、「71歳」が6点、「72歳」が7点、「73歳」が9点、「74歳」が10点、「75-76歳」が12点、「77歳」が13点、「78歳」が14点、「79歳」が15点、「80歳」が17点、「81歳」が18点、「82-83歳」が19点、「84-85歳」が21点、「86-87歳」が22点、「88-89歳」が23点、90歳以上が24点 問4-1で「できない」が2点 問4-2で「できない」が3点 問4-5で「できない」が2点 問3-6で「できるけど、していない」「できない」が3点 問3-7で「できるけど、していない」「できない」が2点 問4-14で「できるけど、していない」「できない」が1点 問3-4で「何度もある」「1度ある」が2点 問3-5で「とても不安である」「やや不安である」が2点 問10-4より、BMI=18.5未満が3点 問3-2で「とても減っている」「減っている」が3点</p>	<p>平均値</p>
<p>⑩認知機能低下者割合（基本チェックリスト）</p>	<p>問4-15で「はい」／問4-16で「いいえ」 問4-17で「はい」</p>	<p>3項目中1項目以上該当</p>
<p>⑪IADL(自立度)低下者（1項目以上）割合</p>	<p>問4-1で「できない」／問4-2で「できない」 問4-3で「できない」／問4-4で「できない」 問4-5で「できない」</p>	<p>5項目中1項目以上該当</p>
<p>⑫幸福感がある者（8/10点以上）の割合</p>	<p>問10-6で「8」「9」「10」</p>	<p>8以上</p>

「就労」

就労	設問番号	定義
<p>⑬就労していない者の割合</p>	<p>問13-1で「職に就いたことがない」「引退した」「求職中」のみに該当</p>	<p>1項目中1項目該当</p>

「社会参加」

社会参加	設問番号	定義
<p>⑭ボランティア参加者（月1回以上）割合</p>	<p>問5-1-1で「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」</p>	<p>1項目中1項目該当</p>

⑮スポーツの会参加者(月1回以上)割合	問5-1-2で「週4回以上」「週2~3回」「週1回」「月1~3回」	1項目中1項目該当
⑯趣味の会参加者(月1回以上)割合	問5-1-3で「週4回以上」「週2~3回」「週1回」「月1~3回」	1項目中1項目該当
⑰学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合	問5-1-6で「週4回以上」「週2~3回」「週1回」「月1~3回」	1項目中1項目該当
⑱通いの場参加者(月1回以上)割合	問5-1-7で「週4回以上」「週2~3回」「週1回」「月1~3回」	1項目中1項目該当
⑲特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合	問5-1-8で「週4回以上」「週2~3回」「週1回」「月1~3回」	1項目中1項目該当

「社会的ネットワーク」

社会的ネットワーク	設問番号	定義
⑳友人知人と会う頻度が高い(月1回以上)者の割合	問6-1で「週4回以上」「週2~3回」「週1回」「月1~3回」	1項目中1項目該当

(3) 回答内容の修正について

集計では出来る限り対象者の回答を有効となるよう集計した。但し、集計を行うにあたり、修正等が必要な場合は修正処理を行った。主な修正内容は以下のとおりである。

設問番号・設問内容	修正処理内容
問10-4 身長	1メートル未満や2メートル以上の回答は異常値と判断し、集計から除外した。
問10-4 体重	○20kg未満や120kg以上の回答は異常値と判断し、集計から除外した。 ○「45.5kg」など、小数点以下まで記入をされたものは、小数点以下を四捨五入し、整数の体重に修正した。 ※45.5kg→46kg
問10-7 自治体居住年数	「6カ月以上」の回答の場合は「1年」とした。また、「6か月未満」の回答の場合は「0(ゼロ)年」とした。
問12-2 家族構成	○「1 一人暮らし」と2-5 選択肢の複数回答の場合で、問13-3)で2人以上だった場合や、3)同居家族質問が2-12の場合は「1 一人暮らし」を削除した。 ○「1 一人暮らし」で問13-3)で2人以上だった場合や、同居家族で2-12に○がついていた場合は回答を削除した。
問12-3 世帯人数	○「0(ゼロ)人」と回答があった場合には、「1人」とした。 ○「1人」と回答し、かつ、問13-3)同居人で「2 配偶者(夫・妻)」を選択した場合は、「2人」とした。 ○問12-3同居家族質問で「1いない」を除く選択肢の回答数が世帯人数以下の場合、世帯人数を選択肢の数の回答に「+1」した。

※記入漏れを補正 問 12-3 同居人	問 12-2 家族構成で「2 夫婦二人暮らし(配偶者 65 歳以上)」、「3 夫婦二人暮らし(配偶者 64 歳以下)」と回答し、問 12-3 同居人で「2 配偶者(夫・妻)」が無かった場合は追加した。
※記入漏れを補正 「主設問」が「無回答」で、付問が「回答有り」の場合は、「主設問」にある選択肢の中から1つに判断できる場合は、記入が漏れたとみなして回答コードを補正した。	(例)問 1-3 が「無回答」で問 1-4 に回答があった場合は、問 1-3 を「1 ある」として集計した。

(4) 分析記述の基本的考え方

「第1期参加自治体」全体での割合との比較を中心に分析記述を行っており、その回答差が比較的大きい項目を分析記述の対象としている。記述の目安は下表のとおりである。

	第1期参加自治体平均	記述なし	やや高い/低い	高い/低い	とても高い/低い
①フレイルあり割合(基本チェックリスト8項目以上)	19.1	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
②運動機能低下者割合	11.7	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
③1年間の転倒あり割合	29.6	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
④物忘れが多い者の割合	40.0	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
⑤閉じこもり者割合	5.7	±0.5未満	±0.5以上	±1.0以上	±2.0以上
⑥うつ割合	28.4	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
⑦口腔機能低下者割合	22.1	±0.5未満	±0.5以上	±1.0以上	±2.0以上
⑧低栄養の傾向	7.5	±0.5未満	±0.5以上	±1.0以上	±2.0以上
⑨要支援・要介護リスク点数の平均点(要支援・要介護リスク評価尺度による算出)	16.1	±0.5未満	±0.5以上	±1.0以上	±2.0以上
⑩認知機能低下者割合(基本チェックリスト)	35.0	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
⑪IADL(自立度)低下者(1項目以上)割合	12.2	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
⑫幸福感がある者(8/10点以上)の割合	49.7	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
⑬就労していない者の割合	57.0	±2.0未満	±2.0以上	±4.0以上	±6.0以上
⑭ボランティア参加者(月1回以上)割合	11.4	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
⑮スポーツの会参加者(月1回以上)割合	20.6	±2.0未満	±2.0以上	±4.0以上	±6.0以上
⑯趣味の会参加者(月1回以上)割合	21.9	±2.0未満	±2.0以上	±4.0以上	±6.0以上
⑰学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合	6.6	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
⑱通いの場参加者(月1回以上)割合	11.3	±2.0未満	±2.0以上	±4.0以上	±6.0以上
⑲特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合	4.6	±0.5未満	±0.5以上	±1.0以上	±2.0以上
⑳友人知人と会う頻度が高い(月1回以上)者の割合	70.2	±2.0未満	±2.0以上	±4.0以上	±6.0以上

(5) 各保険者の調査対象者

「第1期参加自治体」の調査対象者は下表の通りである。

保険者名	要支援者	事業対象者	保険者名	要支援者	事業対象者	保険者名	要支援者	事業対象者
余市町	含まない	含まない	小山町	含む	含む	御船町	含む	含む
栗山町	含まない	含まない	碧南市	含む	含む	津久見市	含まない	含まない
大雪地区 広域連合	含まない	含む	豊中市	含む	含む	竹田市	含む	含む
			神河町	含む	含む	九重町	含まない	含む
苫前町	含まない	含む	天理市	含まない	含まない			
三戸町	含む	含む	王寺町	含む	含む			
大洗町	含まない	含まない	広陵町	含む	含む			
加賀市	含まない	含まない	智頭町	含む	含む			
中央市	含む	含む	平戸市	含む	含む			
早川町	含む	含む	松浦市	含まない	含む			

5. 要介護リスク・就労・社会参加・社会的ネットワーク

(1) 要介護リスク：フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）

余市町と第1期参加自治体を比較してみると『フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）』は「65-69歳」でやや高く、「70-74歳」、「75-79歳」で高い。「85歳以上」でとても低くなっている。

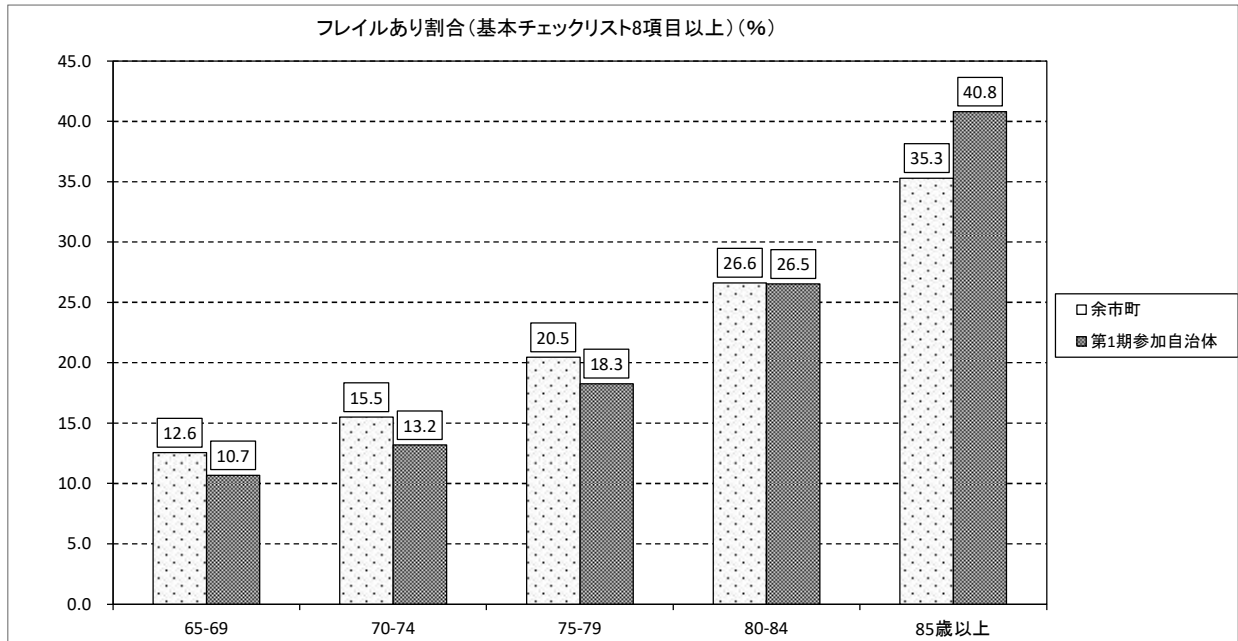


図1 フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）

介護予防ニーズ： フレイルあり割合（基本チェック リスト8項目以上）		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
余市町	人数	575	83	143	134	119	96
	%	19.4	12.6	15.5	20.5	26.6	35.3
	サンプル数	2,958	661	923	655	447	272
第1期参加自治体	人数	9,910	1,265	1,933	1,964	2,238	2,510
	%	19.1	10.7	13.2	18.3	26.5	40.8
	サンプル数	51,848	11,844	14,667	10,749	8,435	6,153

表1 フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）

(2) 要介護リスク：運動機能低下者割合

余市町と第1期参加自治体を比較してみると『運動機能低下者割合』は「65-69歳」、「75-79歳」から「85歳以上」で低く、特に「80-84歳」、「85歳以上」ではとても低くなっている。

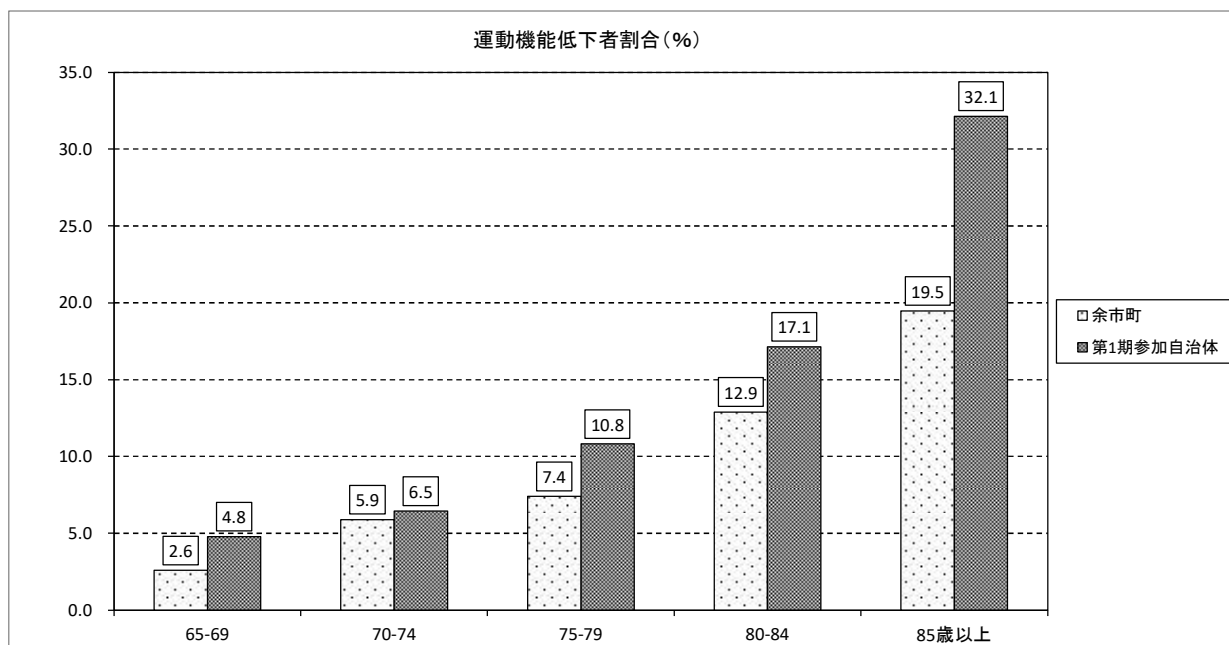


図2 運動機能低下者割合

介護予防ニーズ： 運動機能低下者割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
余市町	人数	228	17	54	48	57	52
	%	7.8	2.6	5.9	7.4	12.9	19.5
	サンプル数	2,933	658	918	648	442	267
第1期参加自治体	人数	5,987	559	935	1,145	1,422	1,926
	%	11.7	4.8	6.5	10.8	17.1	32.1
	サンプル数	51,071	11,697	14,493	10,593	8,296	5,992

表2 運動機能低下者割合

(3) 要介護リスク：1年間の転倒あり割合

余市町と第1期参加自治体を比較してみると『1年間の転倒あり割合』は「65-69歳」で高く、「70-74歳」でとても高い。「80-84歳」でやや低く、「85歳以上」でとても低くなっている。

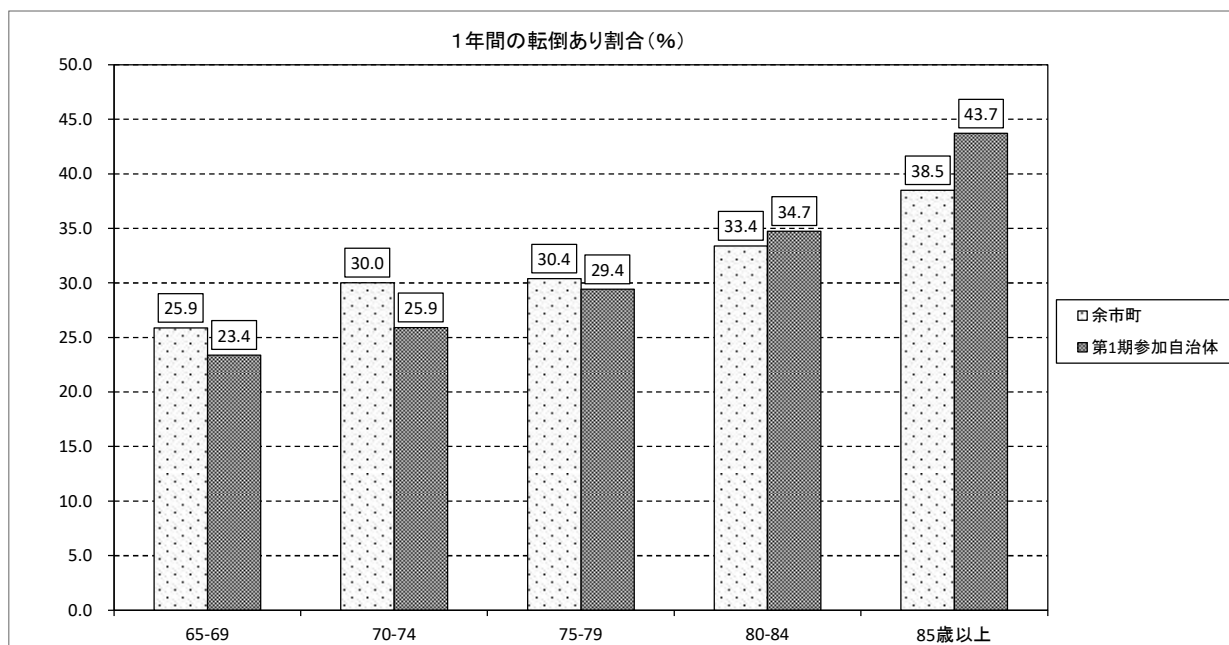


図3 1年間の転倒あり割合

介護予防ニーズ： 1年間の転倒あり割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
余市町	人数	889	170	275	196	146	102
	%	30.4	25.9	30.0	30.4	33.4	38.5
	サンプル数	2,920	657	916	645	437	265
第1期参加自治体	人数	15,041	2,734	3,745	3,103	2,863	2,596
	%	29.6	23.4	25.9	29.4	34.7	43.7
	サンプル数	50,864	11,688	14,450	10,545	8,240	5,941

表3 1年間の転倒あり割合

(4) 要介護リスク：物忘れが多い者の割合

余市町と第1期参加自治体を比較してみると『物忘れが多い者の割合』は「65-69歳」で高い。「80-84歳」で低くなっている。

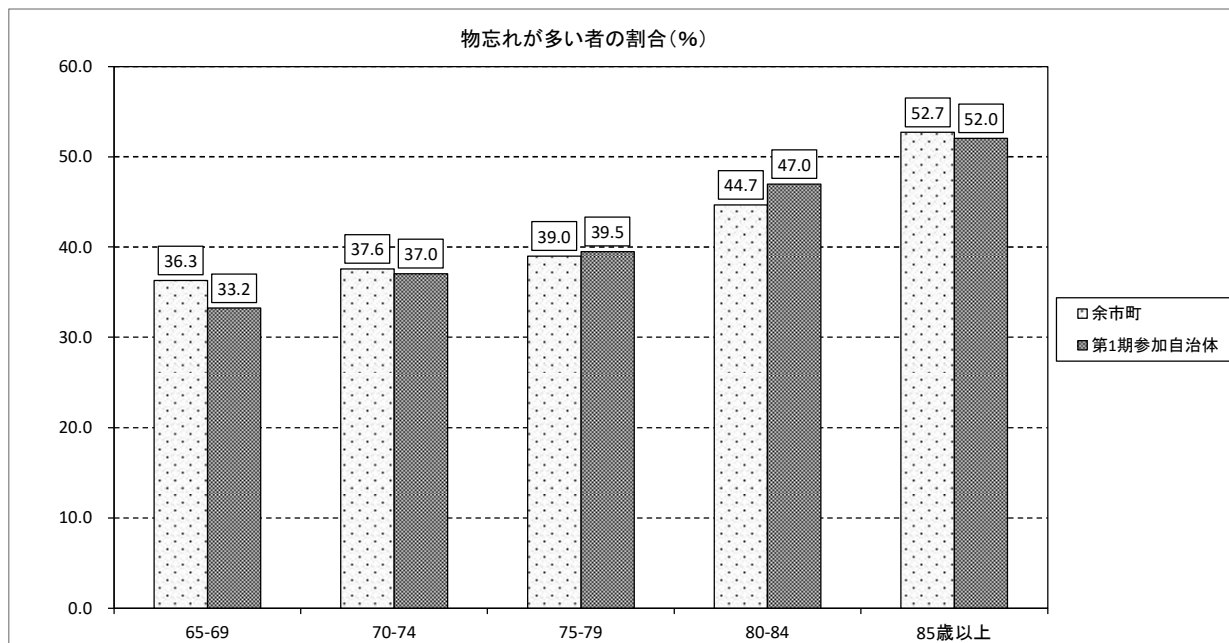


図4 物忘れが多い者の割合

介護予防ニーズ： 物忘れが多い者の割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
余市町	人数	1,159	236	340	250	197	136
	%	40.0	36.3	37.6	39.0	44.7	52.7
	サンプル数	2,895	650	905	641	441	258
第1期参加自治体	人数	20,212	3,871	5,324	4,127	3,825	3,065
	%	40.0	33.2	37.0	39.5	47.0	52.0
	サンプル数	50,495	11,647	14,371	10,446	8,142	5,889

表4 物忘れが多い者の割合

(5) 要介護リスク：閉じこもり者割合

余市町と第1期参加自治体を比較してみると『閉じこもり者割合』は「85歳以上」でやや高く、「65-69歳」、「70-74歳」で高く、「75-79歳」、「80-84歳」でとても高くなっている。

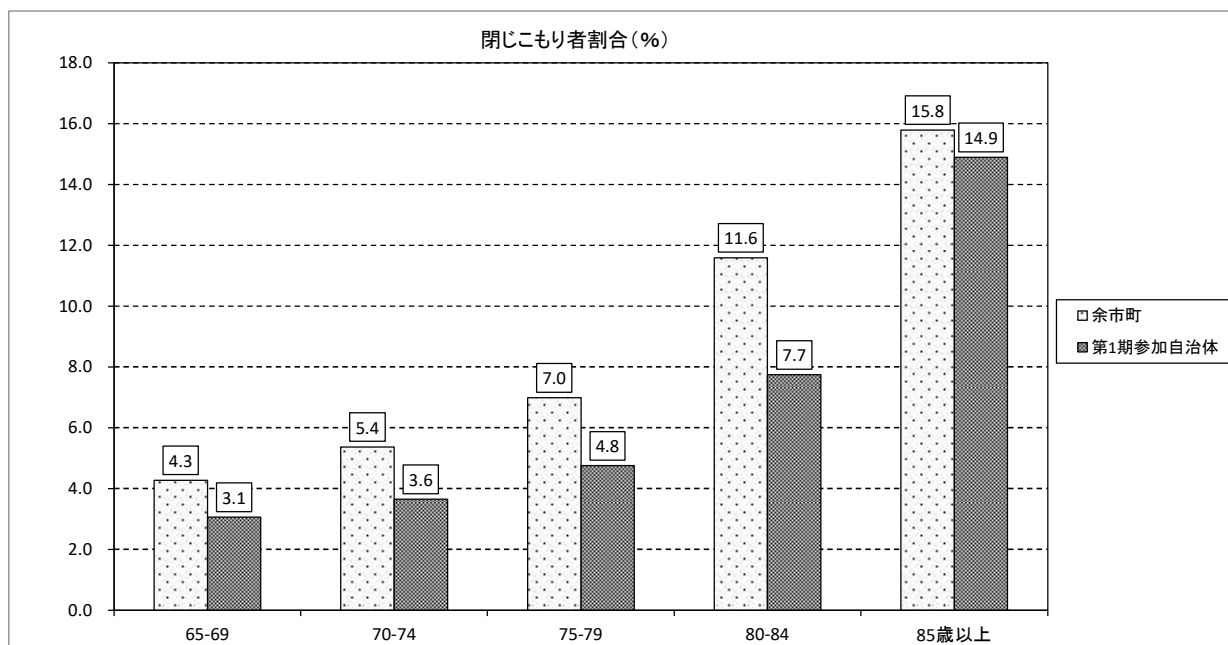


図5 閉じこもり者割合

介護予防ニーズ： 閉じこもり者割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
余市町	人数	215	28	49	45	51	42
	%	7.4	4.3	5.4	7.0	11.6	15.8
	サンプル数	2,919	656	913	644	440	266
第1期参加自治体	人数	2,907	357	527	501	639	883
	%	5.7	3.1	3.6	4.8	7.7	14.9
	サンプル数	50,863	11,679	14,454	10,546	8,255	5,929

表5 閉じこもり者割合

(6) 要介護リスク：うつ割合

余市町と第1期参加自治体を比較してみると『うつ割合』は「80-84歳」でやや高く、「70-74歳」、「75-79歳」、「85歳以上」で高く、「65-69歳」でとても高くなっている。

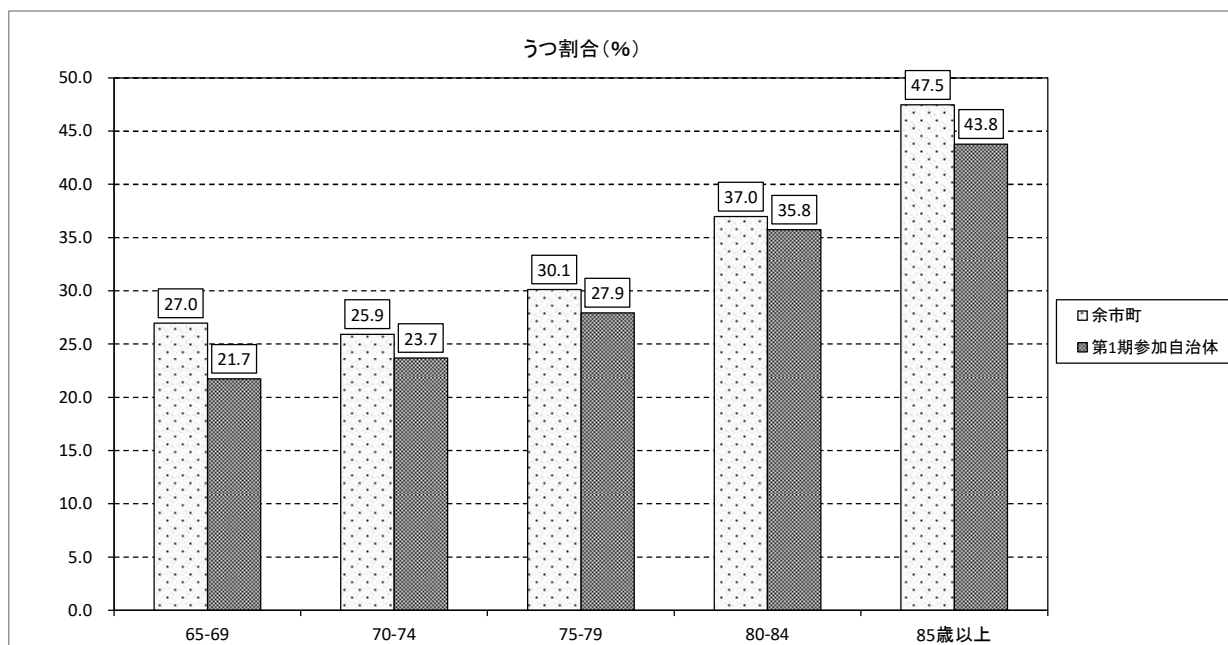


図6 うつ割合

介護予防ニーズ： うつ割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
余市町	人数	880	175	233	191	159	122
	%	30.7	27.0	25.9	30.1	37.0	47.5
	サンプル数	2,869	649	899	634	430	257
第1期参加自治体	人数	14,292	2,529	3,393	2,924	2,904	2,542
	%	28.4	21.7	23.7	27.9	35.8	43.8
	サンプル数	50,344	11,633	14,318	10,466	8,123	5,804

表6 うつ割合

(7) 要介護リスク：口腔機能低下者割合

余市町と第1期参加自治体を比較してみると『口腔機能低下者割合』は「80-84歳」でやや高く、「65-69歳」から「75-79歳」でとても高い。「85歳以上」でとても低くなっている。

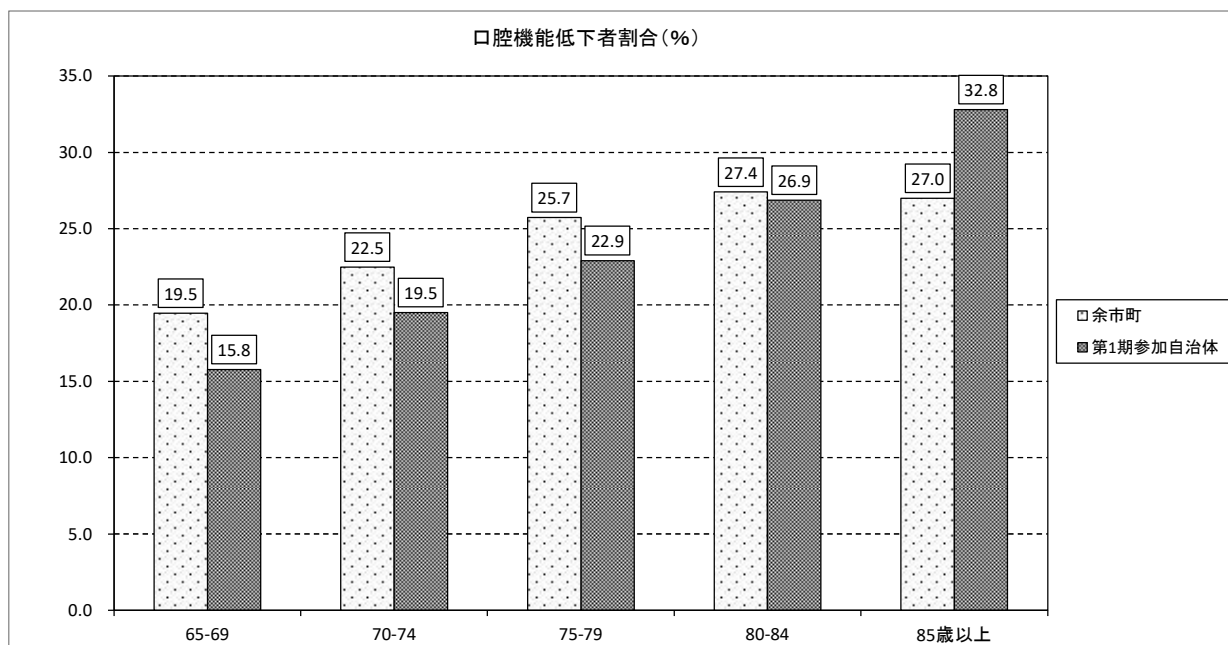


図7 口腔機能低下者割合

介護予防ニーズ： 口腔機能低下者割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
余市町	人数	692	128	206	167	120	71
	%	23.7	19.5	22.5	25.7	27.4	27.0
	サンプル数	2,924	658	916	649	438	263
第1期参加自治体	人数	11,229	1,843	2,822	2,419	2,217	1,928
	%	22.1	15.8	19.5	22.9	26.9	32.8
	サンプル数	50,846	11,683	14,475	10,558	8,253	5,877

表7 口腔機能低下者割合

(8) 要介護リスク：低栄養の傾向割合

余市町と第1期参加自治体を比較してみると『低栄養の傾向割合』は「75-79歳」でやや低く、「65-69歳」、「70-74歳」で低く、「80-84歳」、「85歳以上」でとても低くなっている。

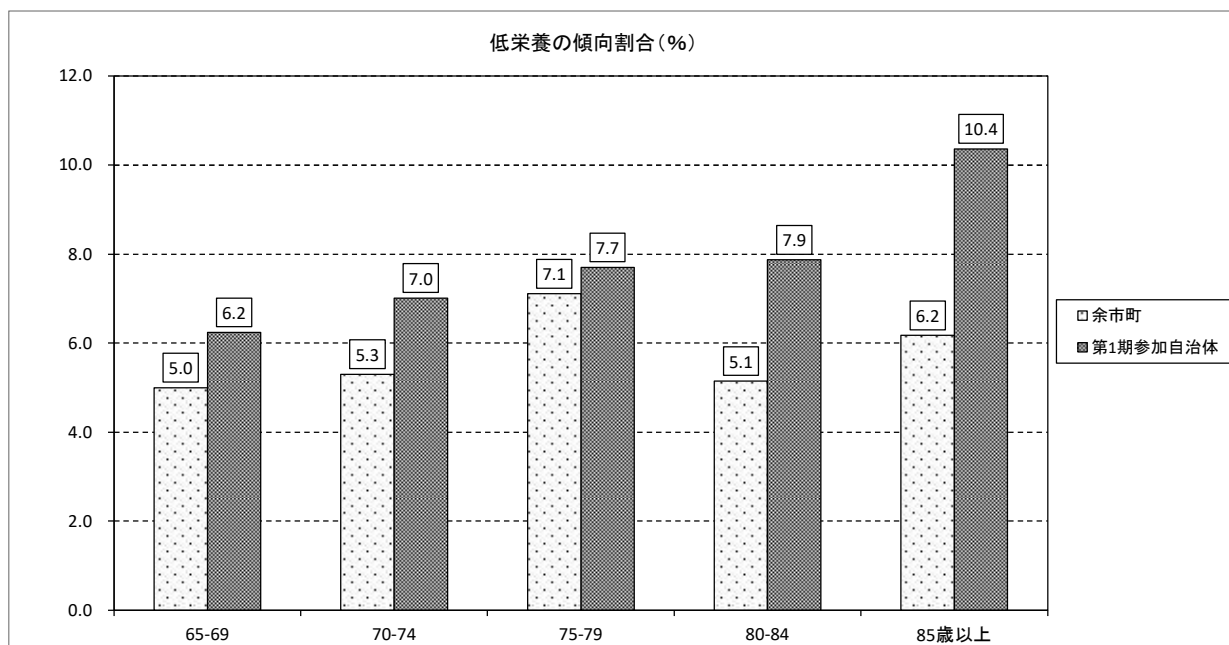


図8 低栄養の傾向割合

介護予防ニーズ： 低栄養の傾向割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
余市町	人数	159	32	47	44	21	15
	%	5.7	5.0	5.3	7.1	5.1	6.2
	サンプル数	2,797	640	887	619	408	243
第1期参加自治体	人数	3,685	720	997	795	615	558
	%	7.5	6.2	7.0	7.7	7.9	10.4
	サンプル数	49,275	11,538	14,218	10,324	7,813	5,382

表8 低栄養の傾向割合

(9) 要介護リスク：要支援・要介護リスク点数の平均点（要支援・要介護リスク評価尺度による算出）

余市町と第1期参加自治体を比較してみると『要支援・要介護リスク点数の平均点（要支援・要介護リスク評価尺度による算出）』は「85歳以上」で低くなっている。

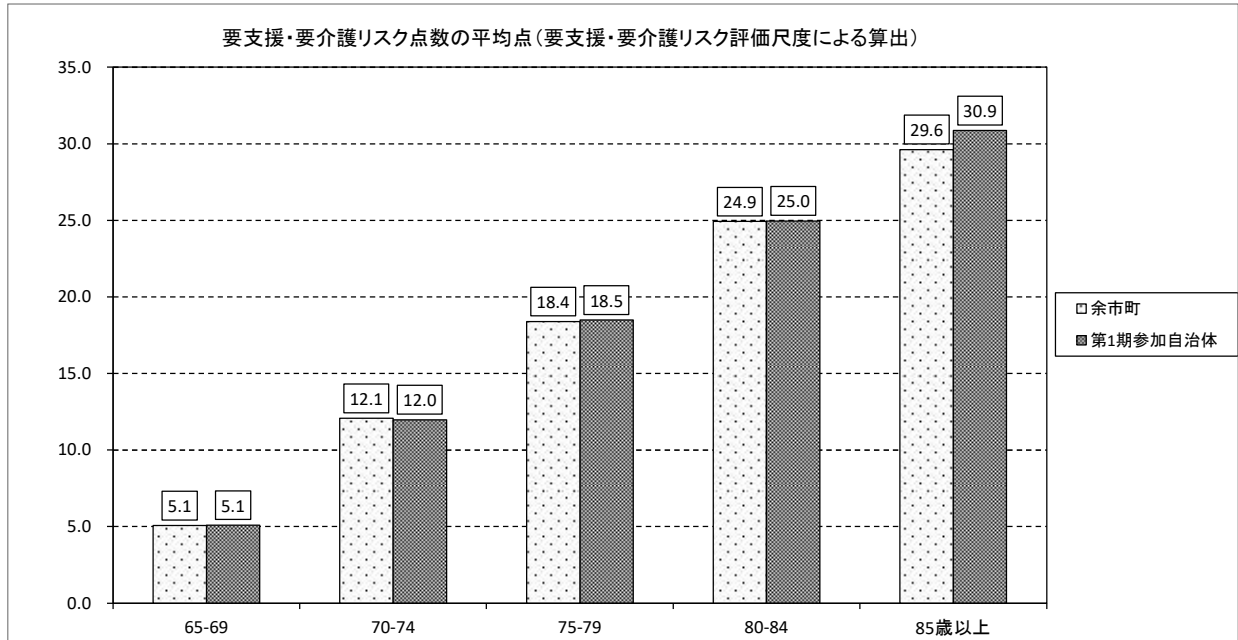


図9 要支援・要介護リスク点数の平均点（要支援・要介護リスク評価尺度による算出）

介護予防ニーズ： 要支援・要介護リスク点数の平均点 （要支援・要介護リスク評価尺度による算出）		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
余市町	平均点	15.5	5.1	12.1	18.4	24.9	29.6
	サンプル数	2,963	661	925	655	447	275
第1期参加自治体	平均点	16.1	5.1	12.0	18.5	25.0	30.9
	サンプル数	51,936	11,853	14,680	10,764	8,450	6,189

表9 要支援・要介護リスク点数の平均点（要支援・要介護リスク評価尺度による算出）

(10) 要介護リスク：認知機能低下者割合（基本チェックリスト）

余市町と第1期参加自治体を比較してみると『認知機能低下者割合（基本チェックリスト）』は「70-74歳」でやや高く、「85歳以上」で高く、「65-69歳」でとても高い。「80-84歳」でやや低くなっている。

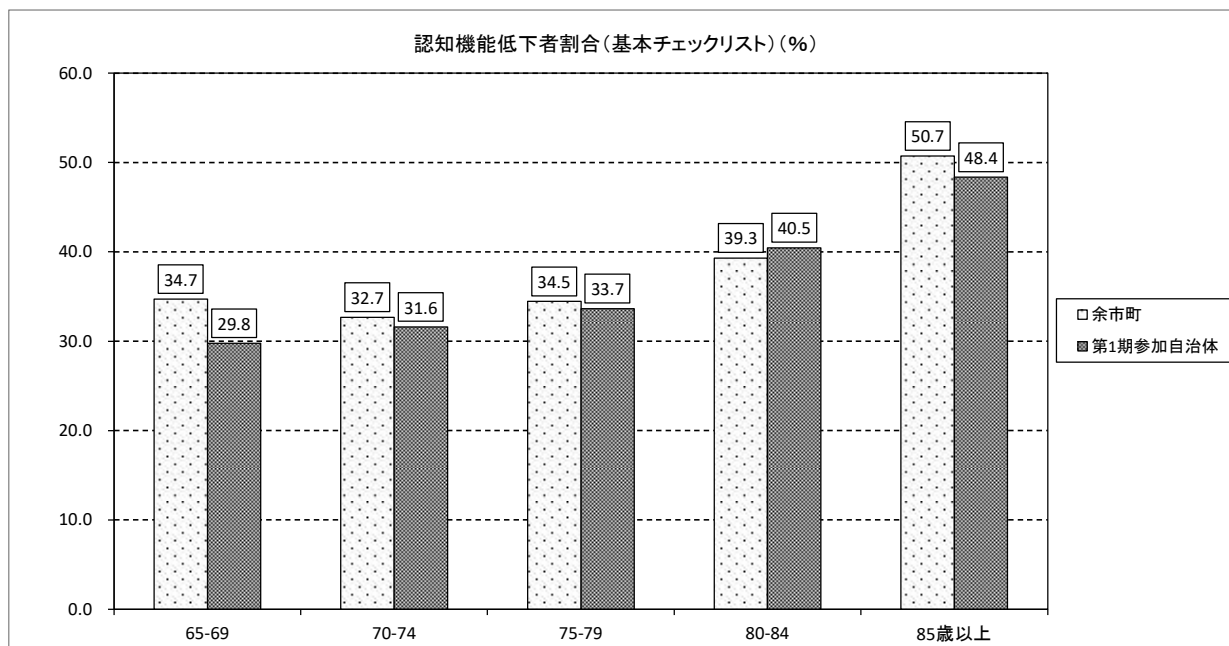


図 10 認知機能低下者割合（基本チェックリスト）

介護予防ニーズ： 認知機能低下者割合（基本チェックリスト）		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
余市町	人数	1,063	228	300	224	175	136
	%	36.2	34.7	32.7	34.5	39.3	50.7
	サンプル数	2,938	657	918	650	445	268
第1期参加自治体	人数	17,924	3,486	4,580	3,571	3,367	2,920
	%	35.0	29.8	31.6	33.7	40.5	48.4
	サンプル数	51,178	11,708	14,500	10,611	8,321	6,038

表 10 認知機能低下者割合（基本チェックリスト）

(11) 要介護リスク：IADL(自立度)低下者（1項目以上）割合

余市町と第1期参加自治体を比較してみると『IADL(自立度)低下者(1項目以上)割合』は「75-79歳」でやや低く、「85歳以上」でとても低くなっている。

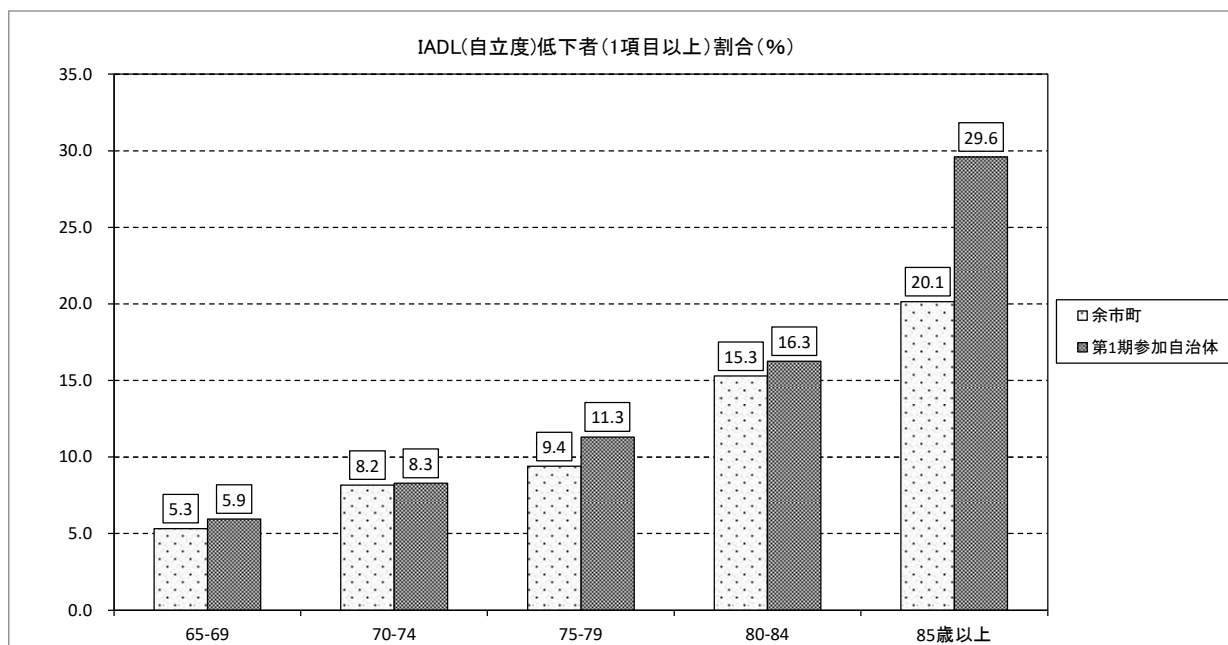


図 11 IADL(自立度)低下者（1項目以上）割合

介護予防ニーズ： IADL(自立度)低下者（1項目以上） 割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
余市町	人数	293	35	75	61	68	54
	%	10.0	5.3	8.2	9.4	15.3	20.1
	サンプル数	2,938	657	918	650	445	268
第1期参加自治体	人数	6,238	697	1,202	1,201	1,353	1,785
	%	12.2	5.9	8.3	11.3	16.3	29.6
	サンプル数	51,190	11,715	14,506	10,612	8,325	6,032

表 11 IADL(自立度)低下者（1項目以上）割合

(12) 要介護リスク：幸福感がある者（8/10点以上）の割合

余市町と第1期参加自治体を比較してみると『幸福感がある者（8/10点以上）の割合』は「80-84歳」で高い。「65-69歳」から「75-79歳」、「85歳以上」で低くなっている。

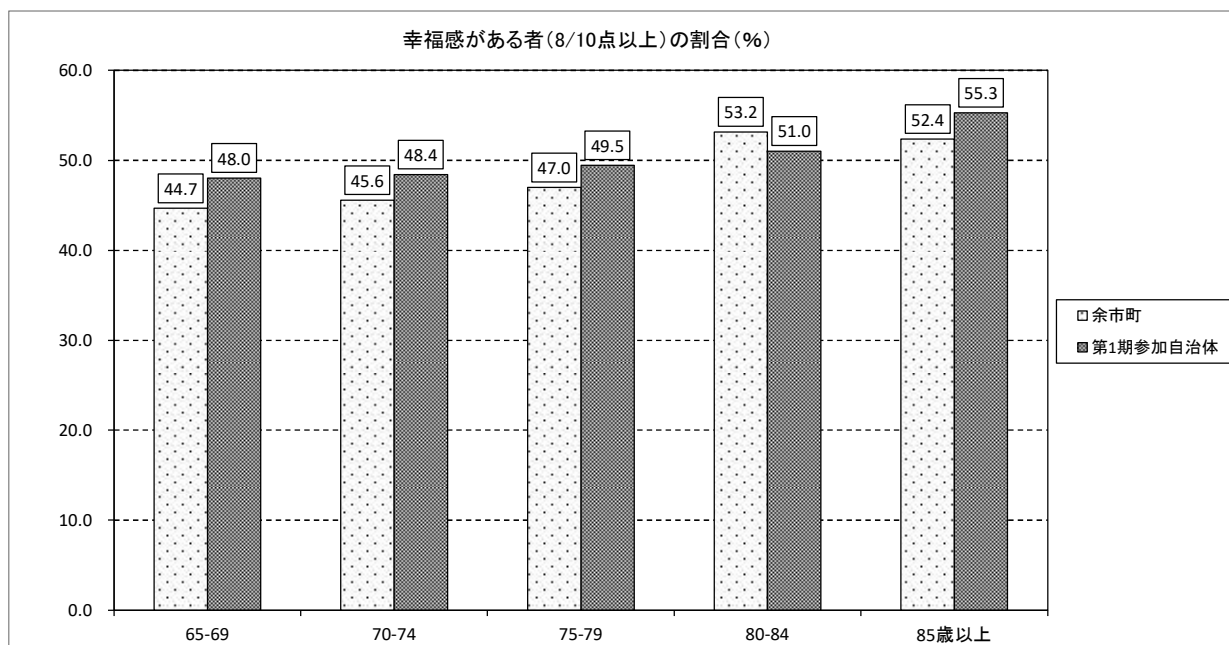


図 12 幸福感がある者（8/10点以上）の割合

介護予防ニーズ： 幸福感がある者（8/10点以上）の 割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
余市町	人数	1,339	285	406	289	226	133
	%	47.4	44.7	45.6	47.0	53.2	52.4
	サンプル数	2,823	638	891	615	425	254
第1期参加自治体	人数	24,621	5,528	6,827	5,088	4,058	3,120
	%	49.7	48.0	48.4	49.5	51.0	55.3
	サンプル数	49,490	11,507	14,102	10,288	7,951	5,642

表 12 幸福感がある者（8/10点以上）の割合

(13) 就労：就労していない者の割合

余市町と第1期参加自治体を比較してみると『就労していない者の割合』は「80-84歳」、「85歳以上」でやや高い。「70-74歳」でやや低くなっている。

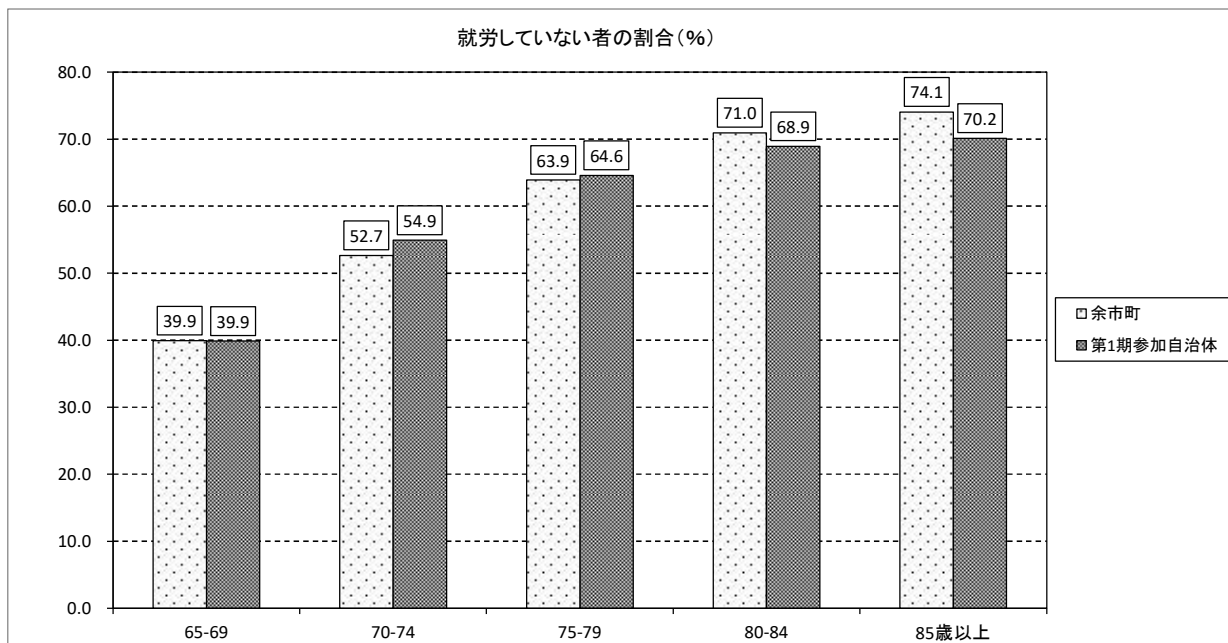


図 13 就労していない者の割合

介護予防ニーズ： 就労していない者の割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
余市町	人数	1,525	252	445	372	276	180
	%	56.7	39.9	52.7	63.9	71.0	74.1
	サンプル数	2,690	631	845	582	389	243
第1期参加自治体	人数	26,302	4,490	7,374	6,113	4,857	3,468
	%	57.0	39.9	54.9	64.6	68.9	70.2
	サンプル数	46,139	11,263	13,423	9,462	7,048	4,943

表 13 就労していない者の割合

(14) 社会参加：ボランティア参加者(月1回以上)割合

余市町と第1期参加自治体を比較してみると『ボランティア参加者(月1回以上)割合』はすべての年齢で低く、特に「70-74歳」、「80-84歳」ではとても低くなっている。

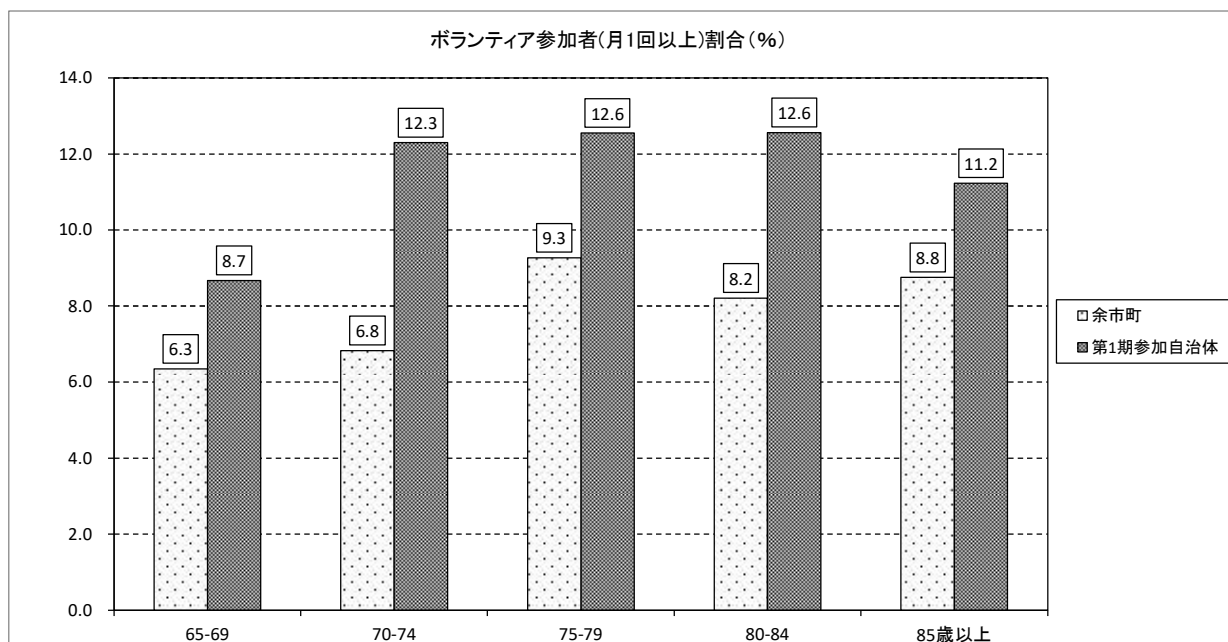


図 14 ボランティア参加者(月1回以上)割合

介護予防ニーズ： ボランティア参加者(月1回以上)割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
余市町	人数	213	41	61	57	33	21
	%	7.6	6.3	6.8	9.3	8.2	8.8
	サンプル数	2,796	646	893	615	402	240
第1期参加自治体	人数	5,588	1,006	1,744	1,278	969	591
	%	11.4	8.7	12.3	12.6	12.6	11.2
	サンプル数	48,933	11,597	14,182	10,182	7,711	5,261

表 14 ボランティア参加者(月1回以上)割合

(15) 社会参加：スポーツの会参加者(月1回以上)割合

余市町と第1期参加自治体を比較してみると『スポーツの会参加者(月1回以上)割合』はすべての年齢で低く、特に「65-69歳」、「75-79歳」、「80-84歳」ではとても低くなっている。

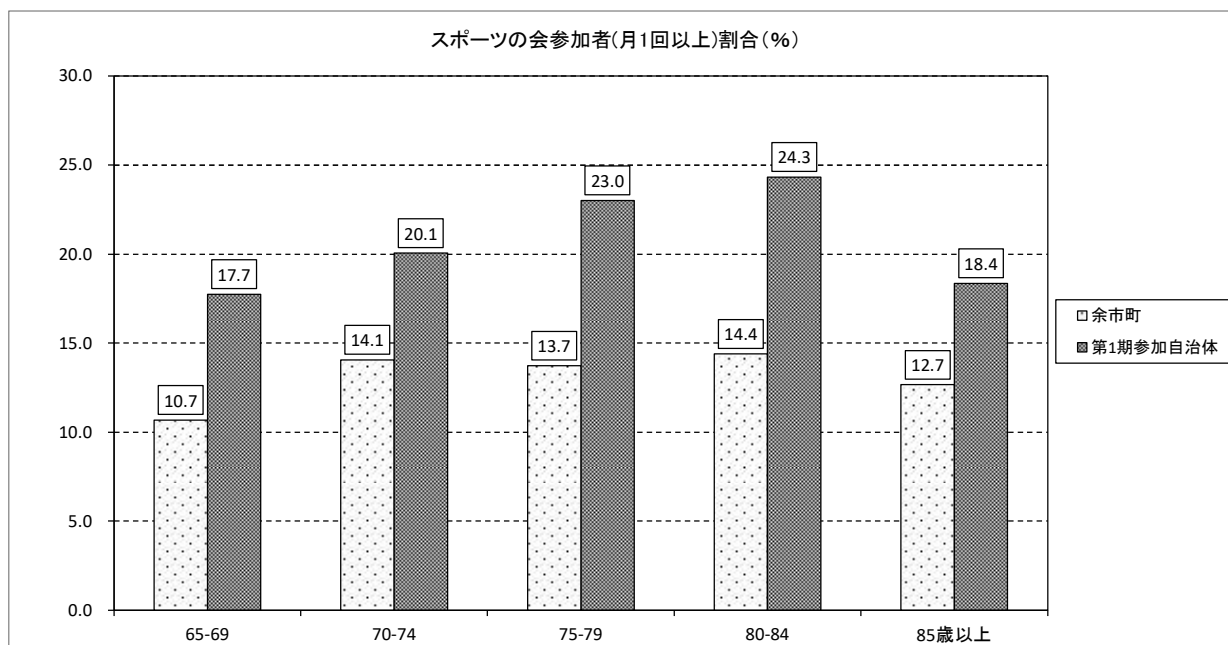


図 15 スポーツの会参加者(月1回以上)割合

介護予防ニーズ： スポーツの会参加者(月1回以上)割合		全体	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
余市町	人数	368	69	126	85	58	30
	%	13.1	10.7	14.1	13.7	14.4	12.7
	サンプル数	2,801	646	896	619	403	237
第1期参加自治体	人数	10,127	2,062	2,849	2,355	1,890	971
	%	20.6	17.7	20.1	23.0	24.3	18.4
	サンプル数	49,107	11,617	14,202	10,230	7,768	5,290

表 15 スポーツの会参加者(月1回以上)割合

(16) 社会参加：趣味の会参加者(月1回以上)割合

余市町と第1期参加自治体を比較してみると『趣味の会参加者(月1回以上)割合』は「80-84歳」でやや低く、「70-74歳」で低く、「65-69歳」、「75-79歳」でとても低くなっている。

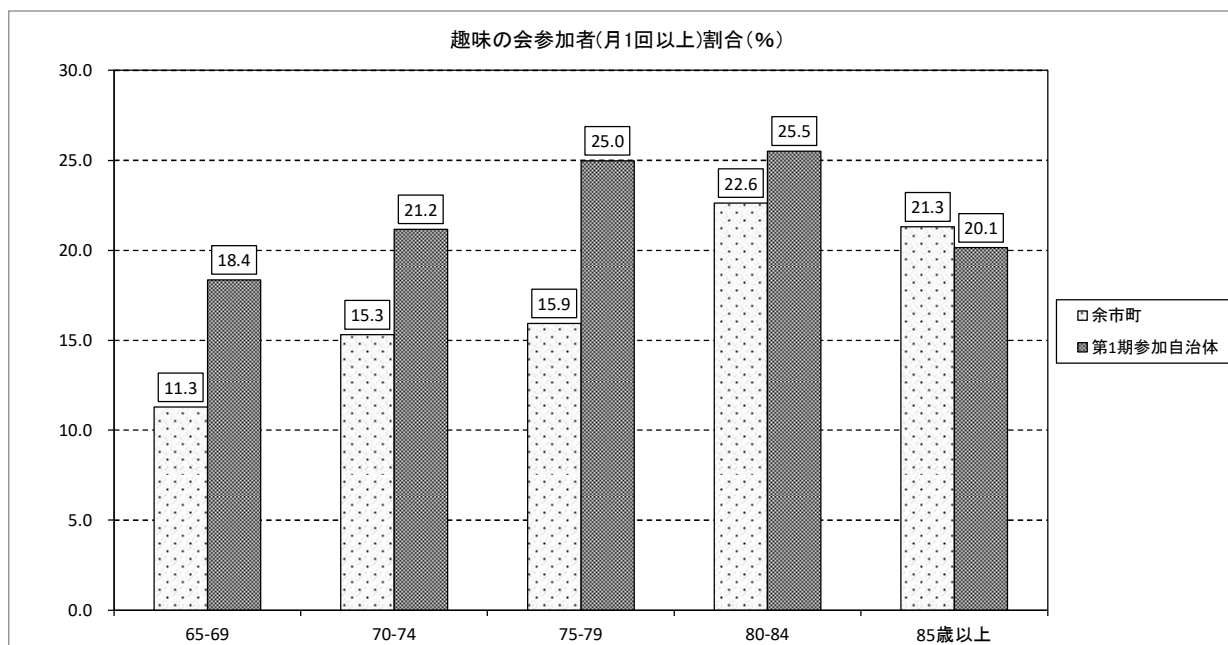


図 16 趣味の会参加者(月1回以上)割合

介護予防ニーズ： 趣味の会参加者(月1回以上)割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
余市町	人数	453	73	137	98	93	52
	%	16.1	11.3	15.3	15.9	22.6	21.3
	サンプル数	2,812	647	895	615	411	244
第1期参加自治体	人数	10,718	2,130	3,005	2,550	1,972	1,061
	%	21.9	18.4	21.2	25.0	25.5	20.1
	サンプル数	49,001	11,602	14,194	10,211	7,727	5,267

表 16 趣味の会参加者(月1回以上)割合

(17) 社会参加：学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合

余市町と第1期参加自治体を比較してみると『学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合』は「65-69歳」から「75-79歳」で低くなっている。

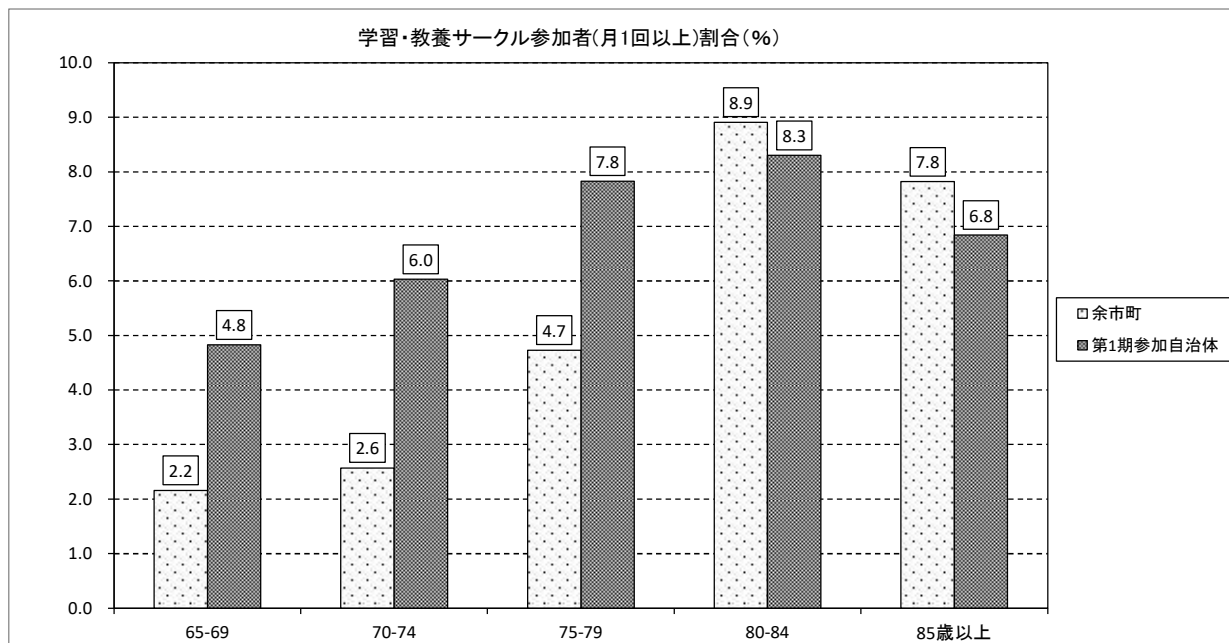


図 17 学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合

介護予防ニーズ： 学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合		全体	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
余市町	人数	121	14	23	29	36	19
	%	4.3	2.2	2.6	4.7	8.9	7.8
	サンプル数	2,802	648	894	613	404	243
第1期参加自治体	人数	3,210	560	855	797	639	359
	%	6.6	4.8	6.0	7.8	8.3	6.8
	サンプル数	48,903	11,601	14,177	10,183	7,696	5,246

表 17 学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合

(18) 社会参加：通いの場参加者(月1回以上)割合

余市町と第1期参加自治体を比較してみると『通いの場参加者(月1回以上)割合』は「65-69歳」でやや低く、「70-74歳」で低く、「75-79歳」から「85歳以上」でとても低くなっている。

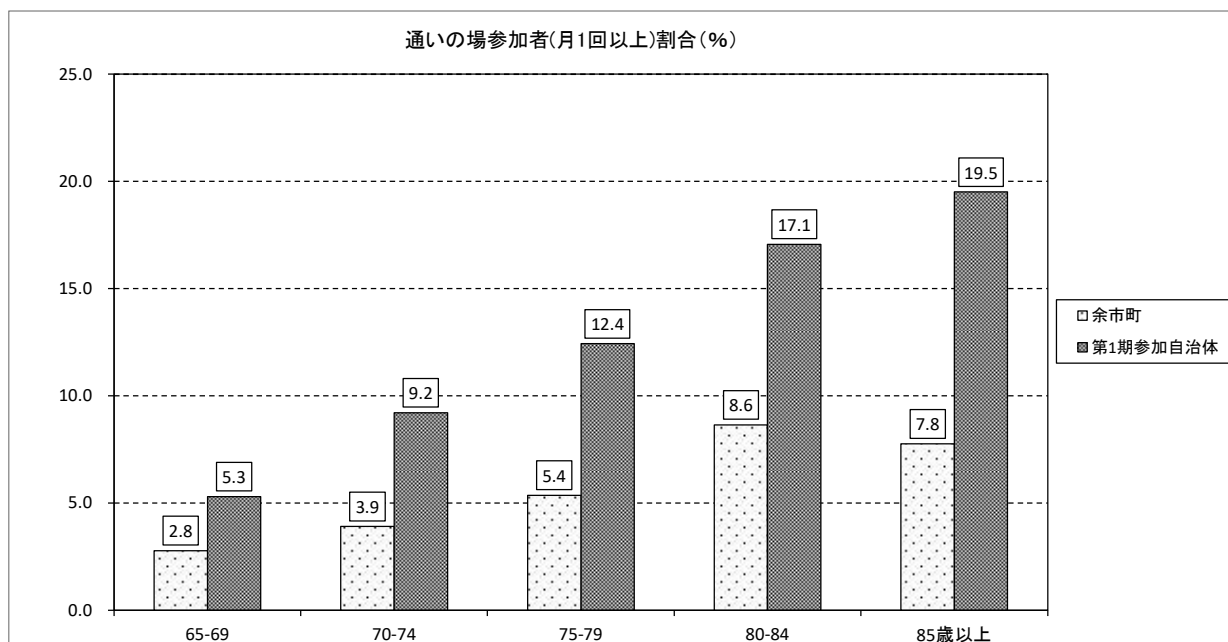


図 18 通いの場参加者(月1回以上)割合

介護予防ニーズ： 通いの場参加者(月1回以上)割合		全体	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
余市町	人数	140	18	35	33	35	19
	%	5.0	2.8	3.9	5.4	8.6	7.8
	サンプル数	2,812	649	897	616	405	245
第1期参加自治体	人数	5,588	615	1,310	1,275	1,334	1,054
	%	11.3	5.3	9.2	12.4	17.1	19.5
	サンプル数	49,325	11,622	14,218	10,263	7,817	5,405

表 18 通いの場参加者(月1回以上)割合

(19) 社会参加：特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合

余市町と第1期参加自治体を比較してみると『特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合』は「65-69歳」、「75-79歳」から「85歳以上」でやや低く、「70-74歳」で低くなっている。

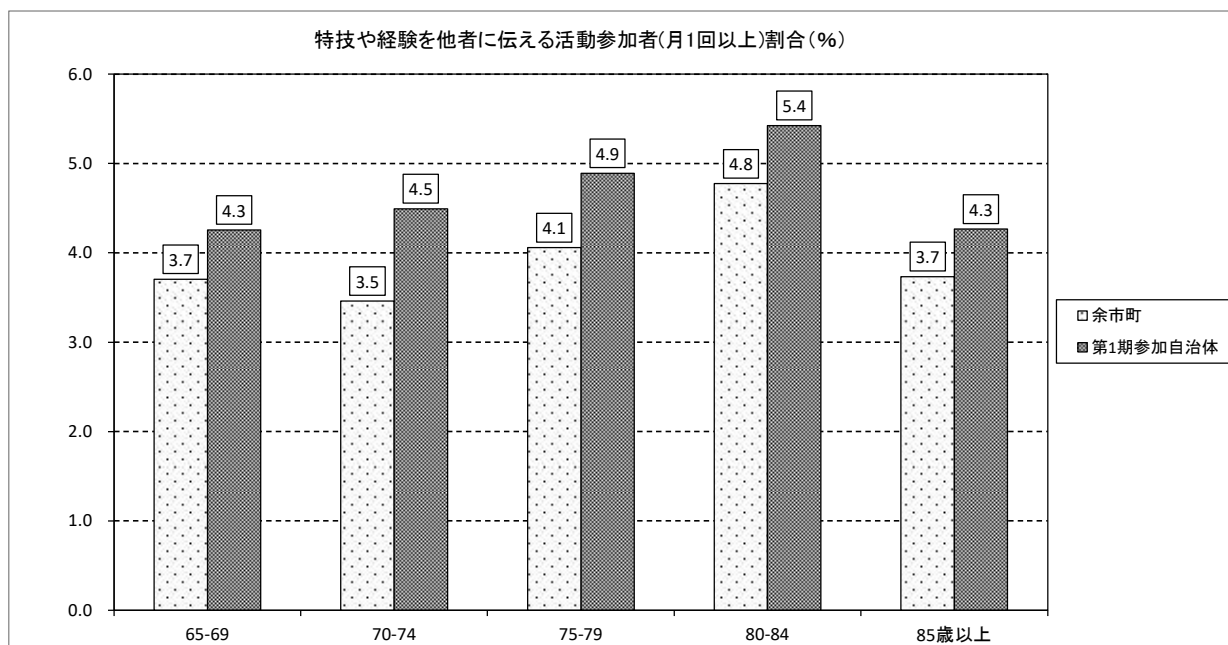


図 19 特技や経験を他者に伝える活動参加者割合

介護予防ニーズ： 特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
余市町	人数	108	24	31	25	19	9
	%	3.9	3.7	3.5	4.1	4.8	3.7
	サンプル数	2,799	648	896	616	398	241
第1期参加自治体	人数	2,272	494	637	498	418	225
	%	4.6	4.3	4.5	4.9	5.4	4.3
	サンプル数	48,945	11,606	14,177	10,183	7,704	5,275

表 19 特技や経験を他者に伝える活動参加者割合

(20) 社会的ネットワーク：友人知人と会う頻度が高い(月1回以上)者の割合

余市町と第1期参加自治体を比較してみると『友人知人と会う頻度が高い(月1回以上)者の割合』はすべての年齢で低く、特に「75-79歳」、「85歳以上」ではとても低くなっている。

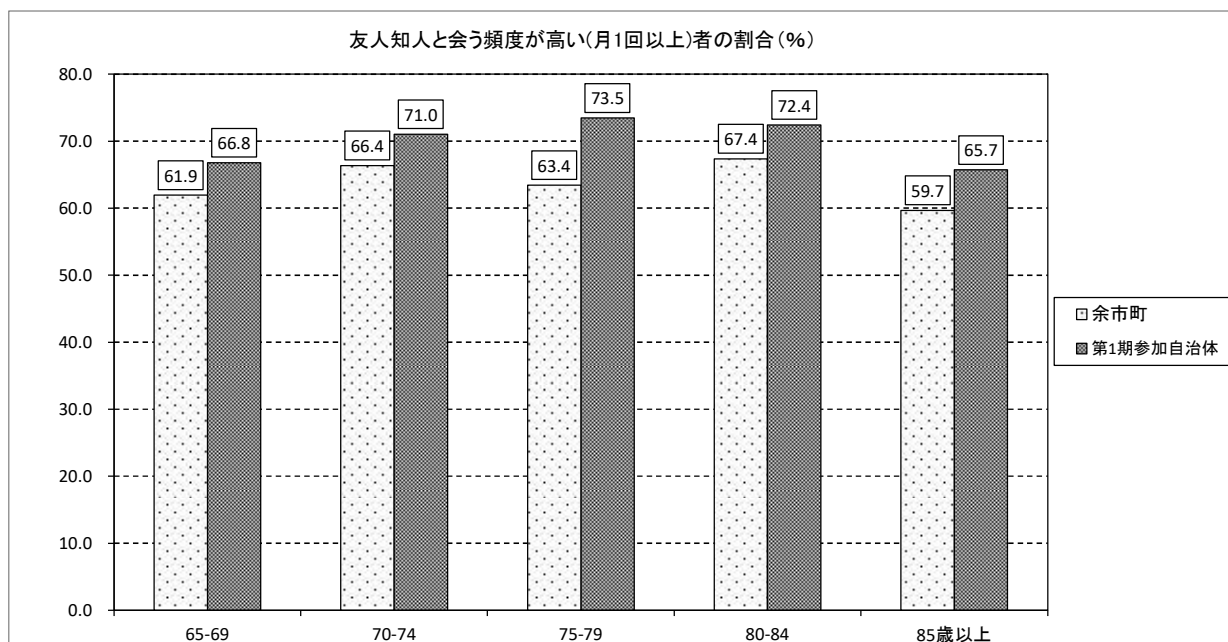


図 20 友人知人と会う頻度が高い(月1回以上)者の割合

介護予防ニーズ：友人知人と会う頻度が高い(月1回以上)者の割合		全体	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
余市町	人数	1,836	402	600	401	285	148
	%	64.3	61.9	66.4	63.4	67.4	59.7
	サンプル数	2,856	649	904	632	423	248
第1期参加自治体	人数	35,280	7,770	10,188	7,673	5,880	3,769
	%	70.2	66.8	71.0	73.5	72.4	65.7
	サンプル数	50,273	11,634	14,340	10,444	8,119	5,736

表 20 友人知人と会う頻度が高い(月1回以上)者の割合

6. 要介護リスク・就労・社会参加・社会的ネットワークの小地域間比較

(1) 要介護リスク

要介護リスクの状況について『余市町全体平均よりも割合が高い小地域』をみると、全年齢においては、『フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）』、『運動機能低下者割合』、『うつ割合』は「沢町小学校」で高い。『1年間の転倒あり割合』は「沢町小学校」で高く、「登小学校」でとても高い。『閉じこもり者割合』は「大川小学校」でやや高い。『口腔機能低下者割合』は「沢町小学校」でやや高く、「大川小学校」で高く、「登小学校」でとても高い。『低栄養の傾向割合』は「登小学校」でとても高い。『認知機能低下者割合』は「沢町小学校」でやや高い。『IADL(自立度)低下者割合(1項目該当)』は「大川小学校」でやや高い。『幸福感がある者(8/10点以上)の割合』は「黒川小学校」でやや高く、「登小学校」、「沢町小学校」で高い。『物忘れが多い者の割合』、『要支援・要介護リスク点数の平均点(要支援・要介護リスク評価尺度による算出)』では、特に目立って割合の高い地域は無い。

	余市町全体 (n=2,963)	大川小学校 (n=968)	黒川小学校 (n=1,271)	登小学校 (n=96)	沢町小学校 (n=628)	
全年齢	フレイルあり割合(基本チェックリスト8項目以上)	19.4	20.4	17.7	16.7	22.0 (%)
	運動機能低下者割合	7.8	7.1	7.0	2.1	11.3
	1年間の転倒あり割合	30.4	28.6	29.6	39.8	33.6
	物忘れが多い者の割合	40.0	39.9	40.2	37.6	40.2
	閉じこもり者割合	7.4	8.0	7.1	5.3	7.3
	うつ割合	30.7	31.4	28.5	31.2	34.0
	口腔機能低下者割合	23.7	24.7	22.2	25.8	24.6
	低栄養の傾向割合	5.7	6.1	5.5	11.4	4.6
	要支援・要介護リスク点数の平均点(要支援・要介護リスク評価尺度による算出)	15.5点	15.4点	15.5点	14.4点	15.7点
	認知機能低下者割合	36.2	36.2	35.4	36.8	37.6
	IADL(自立度)低下者割合(1項目該当)	10.0	11.1	8.8	8.4	10.7
	幸福感がある者(8/10点以上)の割合	47.4	43.2	49.1	49.5	50.2

表1-1 要介護リスク(全年齢)⁴

⁴ 表中のnの数値は各小地域の回答数であり、各指標での欠損を含む

65～74歳においては、『フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）』は「沢町小学校」でやや高い。『運動機能低下者割合』、『認知機能低下者割合』は「沢町小学校」で高い。『1年間の転倒あり割合』、『低栄養の傾向割合』は「登小学校」でとても高い。『物忘れが多い者の割合』は「黒川小学校」で高い。『閉じこもり者割合』は「大川小学校」でやや高い。『うつ割合』は「大川小学校」、「沢町小学校」で高い。『口腔機能低下者割合』は「大川小学校」で高く、「登小学校」でとても高い。『IADL(自立度)低下者割合(1項目該当)』は「大川小学校」で高い。『幸福感がある者(8/10点以上)の割合』は「沢町小学校」でやや高く、「黒川小学校」でとても高い。『要支援・要介護リスク点数の平均点(要支援・要介護リスク評価尺度による算出)』では、特に目立って割合の高い地域は無い。

		余市町全体 (n=1,586)	大川小学校 (n=515)	黒川小学校 (n=674)	登小学校 (n=54)	沢町小学校 (n=343)
6 5 5 7 4 歳	フレイルあり割合(基本チェックリスト8項目以上)	14.3	15.0	13.1	13.0	15.7 (%)
	運動機能低下者割合	4.5	3.9	4.1	1.9	6.7
	1年間の転倒あり割合	28.3	27.0	27.5	48.1	28.7
	物忘れが多い者の割合	37.0	36.9	39.4	25.0	34.4
	閉じこもり者割合	4.9	5.8	4.7	3.8	4.1
	うつ割合	26.4	28.7	23.3	24.5	29.1
	口腔機能低下者割合	21.2	22.7	20.2	24.5	20.5
	低栄養の傾向割合	5.2	4.6	5.6	11.8	4.2
	要支援・要介護リスク点数の平均点(要支援・要介護リスク評価尺度による算出)	9.2点	9.1点	9.3点	8.3点	9.0点
	認知機能低下者割合	33.5	33.4	32.2	30.2	36.8
	IADL(自立度)低下者割合(1項目該当)	7.0	9.1	5.1	5.7	7.6
	幸福感がある者(8/10点以上)の割合	45.2	39.4	49.3	39.2	46.7

表 1-2 要介護リスク (65～74歳)⁵

⁵ 表中の n の数値は各小地域の回答数であり、各指標での欠損を含む

75～84歳においては、『フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）』は「大川小学校」でやや高く、「沢町小学校」で高い。『運動機能低下者割合』、『要支援・要介護リスク点数の平均点（要支援・要介護リスク評価尺度による算出）』は「沢町小学校」で高い。『1年間の転倒あり割合』は「沢町小学校」でとても高い。『物忘れが多い者の割合』は「沢町小学校」で高く、「登小学校」でとても高い。『閉じこもり者割合』は「沢町小学校」でやや高い。『うつ割合』は「登小学校」、「沢町小学校」で高い。『口腔機能低下者割合』は「登小学校」、「沢町小学校」でとても高い。『低栄養の傾向割合』は「大川小学校」で高く、「登小学校」でとても高い。『認知機能低下者割合』は「登小学校」でとても高い。『IADL(自立度)低下者割合（1項目該当）』は「登小学校」で高い。『幸福感がある者（8/10点以上）の割合』は「登小学校」、「沢町小学校」でとても高い。

		余市町全体 (n=1,102)	大川小学校 (n=361)	黒川小学校 (n=475)	登小学校 (n=35)	沢町小学校 (n=231)	
7 5 5 8 4 歳	フレイルあり割合(基本チェックリスト8項目以上)	23.0	24.4	20.2	22.9	26.4	(%)
	運動機能低下者割合	9.6	9.0	9.1	2.9	12.7	
	1年間の転倒あり割合	31.6	27.5	32.2	32.4	36.7	
	物忘れが多い者の割合	41.3	40.5	39.1	54.3	45.1	
	閉じこもり者割合	8.9	9.3	8.3	5.7	9.7	
	うつ割合	32.9	32.9	31.0	35.3	36.3	
	口腔機能低下者割合	26.4	25.9	23.7	30.3	32.2	
	低栄養の傾向割合	6.3	7.4	5.9	9.7	5.2	
	要支援・要介護リスク点数の平均点(要支援・要介護リスク評価尺度による算出)	21.0点	20.7点	20.7点	21.5点	22.1点	
	認知機能低下者割合	36.4	36.3	35.8	45.7	36.5	
	IADL(自立度)低下者割合(1項目該当)	11.8	10.9	12.1	14.3	12.2	
	幸福感がある者(8/10点以上)の割合	49.5	46.1	48.4	65.7	54.3	

表1-3 要介護リスク（75～84歳）⁶

⁶ 表中の n の数値は各小地域の回答数であり、各指標での欠損を含む

85歳以上においては、『フレイルあり割合（基本チェックリスト8項目以上）』、『運動機能低下者割合』、『うつ割合』は「沢町小学校」でとても高い。『1年間の転倒あり割合』、『物忘れが多い者の割合』、『IADL(自立度)低下者割合（1項目該当）』は「大川小学校」で高く、「沢町小学校」でとても高い。『閉じこもり者割合』、『要支援・要介護リスク点数の平均点（要支援・要介護リスク評価尺度による算出）』は「沢町小学校」で高い。『口腔機能低下者割合』は「黒川小学校」でやや高く、「大川小学校」でとても高い。『低栄養の傾向割合』は「大川小学校」でとても高い。『認知機能低下者割合』は「黒川小学校」でやや高い。『幸福感がある者（8/10点以上）の割合』は「大川小学校」でやや高く、「沢町小学校」で高い。

	余市町全体 (n=275)	大川小学校 (n=92)	黒川小学校 (n=122)	登小学校 (n=7)	沢町小学校 (n=54)	
85歳以上	フレイルあり割合(基本チェックリスト8項目以上)	35.3	35.2	33.1	14.3	43.4 (%)
	運動機能低下者割合	19.5	18.0	15.1	-	34.6
	1年間の転倒あり割合	38.5	42.0	31.4	14.3	51.9
	物忘れが多い者の割合	52.7	55.2	49.1	50.0	57.1
	閉じこもり者割合	15.8	15.7	15.3	14.3	17.3
	うつ割合	47.5	40.7	47.8	66.7	56.0
	口腔機能低下者割合	27.0	31.4	28.0	14.3	19.2
	低栄養の傾向割合	6.2	9.5	3.5	16.7	5.0
	要支援・要介護リスク点数の平均点(要支援・要介護リスク評価尺度による算出)	29.6点	29.7点	29.2点	25.7点	31.0点
	認知機能低下者割合	50.7	51.7	52.1	42.9	47.2
	IADL(自立度)低下者割合(1項目該当)	20.1	23.6	16.8	-	24.5
	幸福感がある者(8/10点以上)の割合	52.4	54.0	50.5	42.9	55.1

表1-4 要介護リスク（85歳以上）⁷

⁷ 表中のnの数値は各小地域の回答数であり、各指標での欠損を含む

(2) 就労

就労の状況について『余市町全体平均よりも割合が高い小地域』をみると、全年齢においては、「就労していない者の割合」は「大川小学校」、「黒川小学校」でやや高い。

65～74 歳においては、「就労していない者の割合」は「大川小学校」で高い。

75～84 歳においては、「就労していない者の割合」は「黒川小学校」でやや高い。

85 歳以上においては、「就労していない者の割合」は「大川小学校」で高い。

	余市町全体	大川小学校	黒川小学校	登小学校	沢町小学校
	全年齢 (n=2,963)	全年齢 (n=968)	全年齢 (n=1,271)	全年齢 (n=96)	全年齢 (n=628)
	65～74歳 (n=1,586)	65～74歳 (n=515)	65～74歳 (n=674)	65～74歳 (n=54)	65～74歳 (n=343)
	75～84歳 (n=1,102)	75～84歳 (n=361)	75～84歳 (n=475)	75～84歳 (n=35)	75～84歳 (n=231)
	85歳以上 (n=275)	85歳以上 (n=92)	85歳以上 (n=122)	85歳以上 (n=7)	85歳以上 (n=54)
全年齢	56.7	59.6	59.1	29.1	51.3
65～74歳	47.2	51.6	48.9	18.4	41.7
75～84歳	66.7	67.1	70.0	38.7	63.7
85歳以上	74.1	79.7	75.2	66.7	63.0

表 2 - 1 就労⁸

⁸ 表中の n の数値は各小地域の回答数であり、各指標での欠損を含む

(3) 社会参加

社会参加の状況について『余市町全体平均よりも割合が低い小地域』をみると、全年齢においては、『ボランティア参加者(月1回以上)割合』、『通いの場参加者(月1回以上)割合』は「登小学校」でやや低い。『スポーツの会参加者(月1回以上)割合』は「沢町小学校」でやや低く、「登小学校」で低い。『趣味の会参加者(月1回以上)割合』は「登小学校」でとても低い。『学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合』は「登小学校」で低い。

		余市町全体 (n=2,963)	大川小学校 (n=968)	黒川小学校 (n=1,271)	登小学校 (n=96)	沢町小学校 (n=628)	
全年齢	ボランティア参加者(月1回以上)割合	7.6	8.5	7.1	6.6	7.6	(%)
	スポーツの会参加者(月1回以上)割合	13.1	13.0	14.9	7.8	10.6	
	趣味の会参加者(月1回以上)割合	16.1	15.8	17.4	8.9	15.1	
	学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合	4.3	4.2	4.4	1.1	4.9	
	通いの場参加者(月1回以上)割合	5.0	4.6	5.3	2.2	5.4	
	特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合	3.9	3.1	4.4	3.3	4.0	

表3-1 社会参加(全年齢)⁹

65～74歳においては、『スポーツの会参加者(月1回以上)割合』、『趣味の会参加者(月1回以上)割合』は「登小学校」で低い。『ボランティア参加者(月1回以上)割合』、『学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合』、『通いの場参加者(月1回以上)割合』では、特に目立って割合の低い地域は無い。

		余市町全体 (n=1,586)	大川小学校 (n=515)	黒川小学校 (n=674)	登小学校 (n=54)	沢町小学校 (n=343)	
65～74歳	ボランティア参加者(月1回以上)割合	6.6	7.0	6.3	9.6	6.2	(%)
	スポーツの会参加者(月1回以上)割合	12.6	11.2	15.0	7.8	11.0	
	趣味の会参加者(月1回以上)割合	13.6	12.6	14.4	7.8	14.5	
	学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合	2.4	1.8	2.9	1.9	2.4	
	通いの場参加者(月1回以上)割合	3.4	2.8	3.7	1.9	4.1	
	特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合	3.6	3.0	4.3	1.9	3.2	

表3-2 社会参加(65～74歳)¹⁰

⁹ 表中のnの数値は各小地域の回答数であり、各指標での欠損を含む

¹⁰ 表中のnの数値は各小地域の回答数であり、各指標での欠損を含む

75～84 歳においては、『ボランティア参加者(月 1 回以上)割合』は「黒川小学校」でやや低く、「登小学校」でとても低い。『スポーツの会参加者(月 1 回以上)割合』、『趣味の会参加者(月 1 回以上)割合』は「沢町小学校」で低く、「登小学校」でとても低い。『学習・教養サークル参加者(月 1 回以上)割合』、『通いの場参加者(月 1 回以上)割合』は「登小学校」でとても低い。

		余市町全体 (n=1,102)	大川小学校 (n=361)	黒川小学校 (n=475)	登小学校 (n=35)	沢町小学校 (n=231)	(%)
7 5 8 4 歳	ボランティア参加者(月1回以上)割合	8.8	11.0	7.2	3.0	9.8	
	スポーツの会参加者(月1回以上)割合	14.0	14.9	16.1	6.1	9.4	
	趣味の会参加者(月1回以上)割合	18.6	21.4	19.4	12.1	13.8	
	学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合	6.4	8.2	5.6	-	6.1	
	通いの場参加者(月1回以上)割合	6.7	7.0	6.7	-	7.0	
	特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合	4.3	3.4	4.6	6.1	5.1	

表 3 - 3 社会参加 (75～84 歳) ¹¹

85 歳以上においては、『ボランティア参加者(月 1 回以上)割合』は「大川小学校」、「沢町小学校」でやや低い。『スポーツの会参加者(月 1 回以上)割合』は「黒川小学校」でやや低い。『趣味の会参加者(月 1 回以上)割合』、『学習・教養サークル参加者(月 1 回以上)割合』は「大川小学校」でとても低い。『通いの場参加者(月 1 回以上)割合』では、特に目立って割合の低い地域は無い。

		余市町全体 (n=275)	大川小学校 (n=92)	黒川小学校 (n=122)	登小学校 (n=7)	沢町小学校 (n=54)	(%)
8 5 歳 以 上	ボランティア参加者(月1回以上)割合	8.8	7.6	10.6	-	7.1	
	スポーツの会参加者(月1回以上)割合	12.7	16.5	9.1	16.7	14.3	
	趣味の会参加者(月1回以上)割合	21.3	12.3	27.2	-	25.6	
	学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合	7.8	2.5	7.8	-	19.0	
	通いの場参加者(月1回以上)割合	7.8	6.2	8.6	16.7	7.1	
	特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合	3.7	2.5	4.4	-	4.9	

表 3 - 4 社会参加 (85 歳以上) ¹²

¹¹ 表中の n の数値は各小地域の回答数であり、各指標での欠損を含む

¹² 表中の n の数値は各小地域の回答数であり、各指標での欠損を含む

(4) 社会的ネットワーク

社会的ネットワークの状況について『余市町全体平均よりも割合が低い小地域』をみると、全年齢においては、「友人知人と会う頻度が高い者の割合」は「登小学校」で低い。

65～74歳においては、「友人知人と会う頻度が高い者の割合」は「大川小学校」でやや低い。

75～84歳においては、「友人知人と会う頻度が高い者の割合」は「登小学校」でとても低い。

85歳以上においては、「友人知人と会う頻度が高い者の割合」は「大川小学校」でやや低い。

	余市町全体	大川小学校	黒川小学校	登小学校	沢町小学校	
	全年齢 (n=2,963)	全年齢 (n=968)	全年齢 (n=1,271)	全年齢 (n=96)	全年齢 (n=628)	
	65～74歳 (n=1,586)	65～74歳 (n=515)	65～74歳 (n=674)	65～74歳 (n=54)	65～74歳 (n=343)	
	75～84歳 (n=1,102)	75～84歳 (n=361)	75～84歳 (n=475)	75～84歳 (n=35)	75～84歳 (n=231)	
	85歳以上 (n=275)	85歳以上 (n=92)	85歳以上 (n=122)	85歳以上 (n=7)	85歳以上 (n=54)	
全年齢	64.3	62.8	65.3	59.3	65.3	(%)
65～74歳	64.5	62.1	66.4	66.7	64.2	
75～84歳	65.0	65.3	64.6	47.1	68.2	
85歳以上	59.7	57.3	61.2	66.7	59.1	

表4-1 社会的ネットワーク¹³

¹³ 表中の n の数値は各小地域の回答数であり、各指標での欠損を含む

7. 保険者独自項目の調査結果

余市町独自の調査項目についての結果は以下のとおりである。

【問1】

1) あなたはスマートフォンを利用していますか（○は1つ）。

スマートフォンの利用について聞いたところ、「利用している」は49.6%、「利用していない」は40.9%となっている。

年齢別にみると、「利用している」は年齢が低いほど高くなっている。

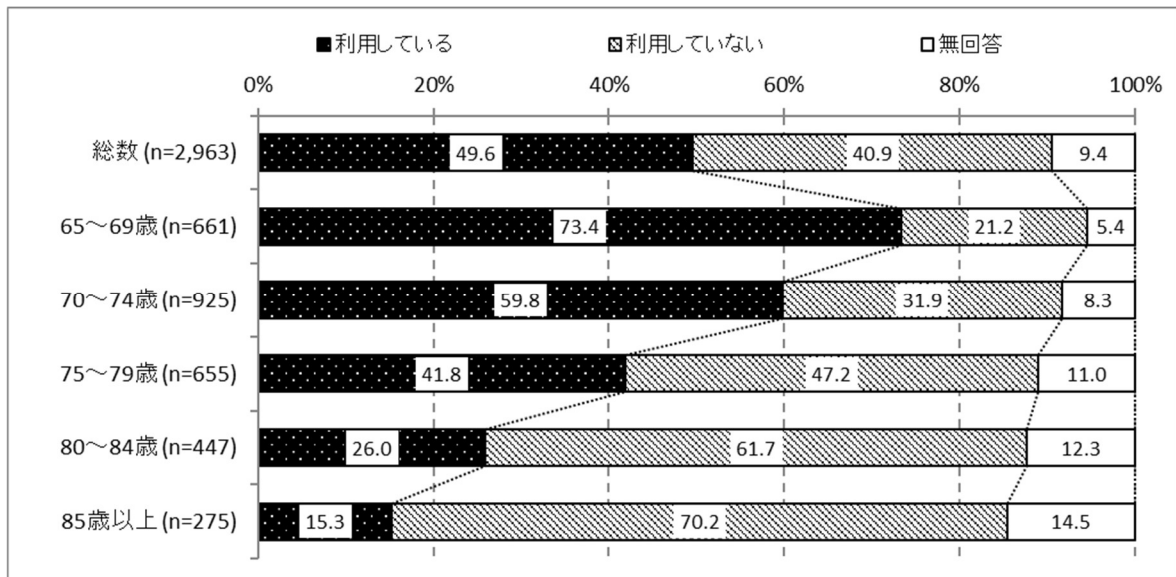


図1-1 スマートフォンの利用の有無

		サンプル数	利用している	利用していない	無回答
総数	人数	2,963	1,470	1,213	280
	%	100.0	49.6	40.9	9.4
65～69歳	人数	661	485	140	36
	%	100.0	73.4	21.2	5.4
70～74歳	人数	925	553	295	77
	%	100.0	59.8	31.9	8.3
75～79歳	人数	655	274	309	72
	%	100.0	41.8	47.2	11.0
80～84歳	人数	447	116	276	55
	%	100.0	26.0	61.7	12.3
85歳以上	人数	275	42	193	40
	%	100.0	15.3	70.2	14.5

表 1-1 スマートフォンの利用の有無

【問 1】

2) この先、スマートフォンを利用したいと思いますか (○は1つ)。

スマートフォンを利用していないと答えた人 (1,213人) に、この先、スマートフォンを利用したいと思うか聞いたところ、「利用したい」は8.6%、「機会があれば利用したい」は27.5%、「利用しない」は57.5%、「不安が解消すれば利用する」は4.3%となっている。

年齢別にみると「利用しない」は年齢が高いほど高くなっている。

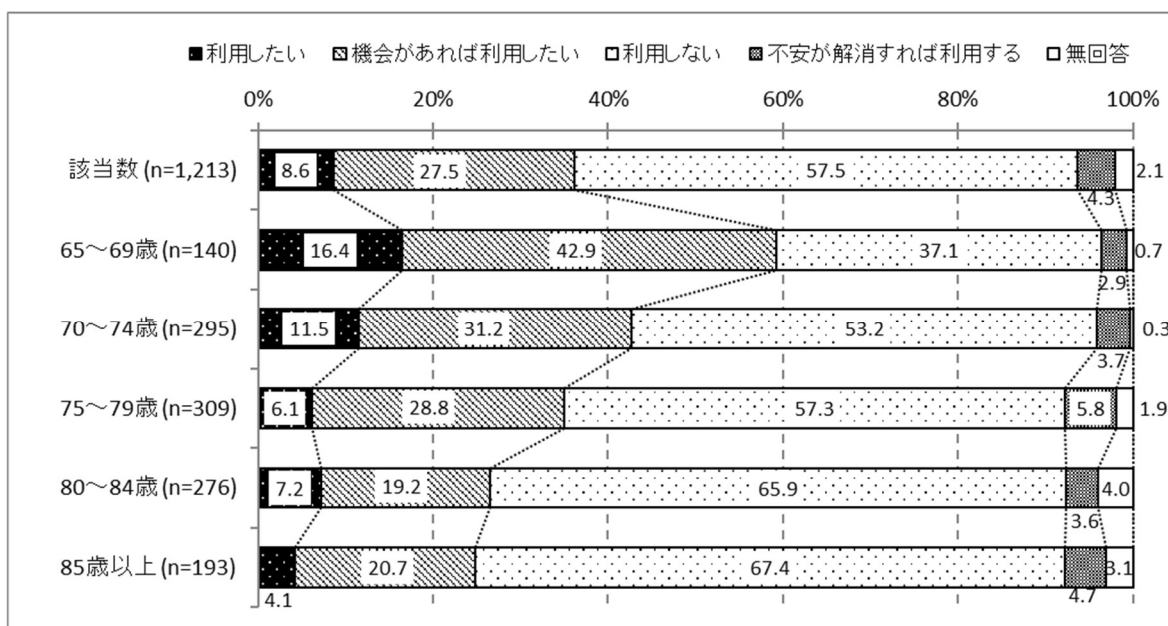


図 1-2 この先、スマートフォンを利用したいと思うか

		サンプル数	利用したい	機会があれば利用したい	利用しない	不安が解消すれば利用する	無回答
該当数	人数	1,213	104	334	698	52	25
	%	100.0	8.6	27.5	57.5	4.3	2.1
65～69歳	人数	140	23	60	52	4	1
	%	100.0	16.4	42.9	37.1	2.9	0.7
70～74歳	人数	295	34	92	157	11	1
	%	100.0	11.5	31.2	53.2	3.7	0.3
75～79歳	人数	309	19	89	177	18	6
	%	100.0	6.1	28.8	57.3	5.8	1.9
80～84歳	人数	276	20	53	182	10	11
	%	100.0	7.2	19.2	65.9	3.6	4.0
85歳以上	人数	193	8	40	130	9	6
	%	100.0	4.1	20.7	67.4	4.7	3.1

表 1-2 この先、スマートフォンを利用したいと思うか

【問2】この1ヶ月の間に、(1)～(8)の内容に関する情報を得た情報源としてあてはまるものに、1～10の中からいくつでも○をつけてください(○はそれぞれいくつでも)。

そのような情報を必要としなかった場合には、11に○をつけてください。また、○がついた情報源のうち、もっともよく情報を得た情報源の番号を右の欄に記入してください。○が1つの場合はその番号をご記入ください。

【情報を得た情報源】

この1ヶ月の間に情報を得た情報源を挙げてもらったところ、すべての情報の種類において、情報を得た情報源は「テレビ(ワンセグ含む)」がもっとも高く、次いで「新聞」となっている。3位は情報の種類により異なり、「スポーツニュース」と「気象情報、天気予報」は「ラジオ」から、「時事ニュース」、「グルメ情報」、「ショッピング」、「健康関連情報」の情報は、「友人、知人、家族からの会話・ロコミ」となっている。また、「旅行・観光情報」は「雑誌」から、「芸能・娯楽情報」は「インターネットニュースサイト」となっている。

総数 (n=2,963)

情報を得た 情報源 情報の種類	1. テレビ (ワンセグ含む)	2. ラジオ	3. 新聞	4. 雑誌	インターネット(機器は問わず)					10. 友人、知人、 家族からの会話・ ロコミ	11. そのような情報は必要としなかった	無 回 答
					5. インターネット ニュースサイト	6. 町内広報、 回覧板	7. ツイッター、LINE、 フェイスブックなどの ソーシャルメディア	8. 動画配信、 動画共有サイト	9. ブログ、 その他のサイト			
(1) 時事ニュース	73.5	19.2	56.7	7.4	16.1	13.0	5.1	2.8	1.1	19.4	1.3	16.1
(2) スポーツ ニュース	69.6	15.4	50.4	4.0	13.1	0.9	3.2	2.4	0.5	9.3	3.2	18.8
(3) 気象情報、 天気予報	79.6	18.3	39.8	1.2	17.6	0.5	3.9	1.0	0.8	8.9	0.7	14.5
(4) グルメ情報	44.9	4.2	18.2	13.4	10.3	0.6	4.2	2.1	1.6	16.7	14.2	27.0
(5) ショッピング	31.7	3.9	22.5	11.7	11.1	0.9	3.6	1.3	1.5	14.6	16.4	28.9
(6) 旅行・観光情報	31.8	3.5	24.9	14.6	11.1	0.6	3.1	1.5	1.4	13.5	19.1	28.6
(7) 芸能・娯楽情報	57.5	8.9	28.2	12.6	13.1	0.5	4.2	3.0	1.1	10.3	9.6	23.9
(8) 健康関連情報	57.1	9.5	36.0	12.9	12.3	6.0	3.9	2.5	1.1	16.7	5.9	21.9

表 2-1 この1ヶ月の間に情報を得た情報源

【問2】

【もっともよく使った情報源】

この1ヶ月の間に情報を得た情報源のうち、もっともよく情報を得た情報源を聞いたところ、すべての情報の種類において、「テレビ（ワンセグ含む）」の割合がもっとも高くなっている。

総数 (n=2,963)

情報の種類	1. テレビ (ワンセグ含む)	2. ラジオ	3. 新聞	4. 雑誌	インターネット (機器は問わず)					10. 友人、知人、 家族からの会話・ ロコミ	11. そのような情報は 必要としなかった	無 回 答
					5. インター ネット サイト	6. 町内広報、 閲覧板	7. ツイ ッター、LINE、 フェイスブック などの ソーシャル メディア	8. 動画配信、 動画共有 サイト	9. ブログ、 その他の サイト			
(1) 時事ニュース	35.7	1.8	11.5	0.2	3.2	0.3	0.4	0.2	0.1	0.3	0.2	45.9
(2) スポーツ ニュース	34.0	1.8	10.4	0.2	3.0	-	0.2	0.2	0.0	0.2	0.9	49.1
(3) 気象情報、 天気予報	41.3	1.4	2.9	0.2	6.9	0.0	0.6	0.1	0.2	0.2	0.1	46.2
(4) グルメ情報	19.6	0.3	2.8	3.7	5.0	0.1	1.1	0.3	0.2	4.4	4.6	57.9
(5) ショッピング	12.3	0.6	6.3	4.0	5.9	0.2	1.0	0.2	0.4	4.0	6.0	59.2
(6) 旅行・観光情報	11.3	0.3	6.4	4.9	5.5	0.1	0.9	0.3	0.2	3.4	6.9	59.7
(7) 芸能・娯楽情報	28.8	0.8	3.5	1.4	5.6	-	0.7	0.5	0.2	0.9	2.9	54.7
(8) 健康関連情報	23.8	0.9	7.9	2.2	5.2	1.0	0.8	0.7	0.2	2.9	1.7	52.7

表 2-2 この1ヶ月の間に情報を得た情報源のうち、もっともよく情報を得た情報源

【問3】介護保険制度や高齢者に対するサービスなどに関する情報をどこから得ていますか
(あてはまるものすべてに○)。

介護保険制度や高齢者に対するサービスなどに関する情報をどこから得ているか挙げてもらったところ、「新聞、テレビ、ラジオ、雑誌など」(45.2%)、「町のパンフレット、広報、ホームページなど」(45.0%)、などが挙げられた。

年齢別にみると、「新聞、テレビ、ラジオ、雑誌など」は「85歳以上」で高い。「主治医、医療機関」、「家族、親せき、知人」は年齢が高いほど高くなっている。

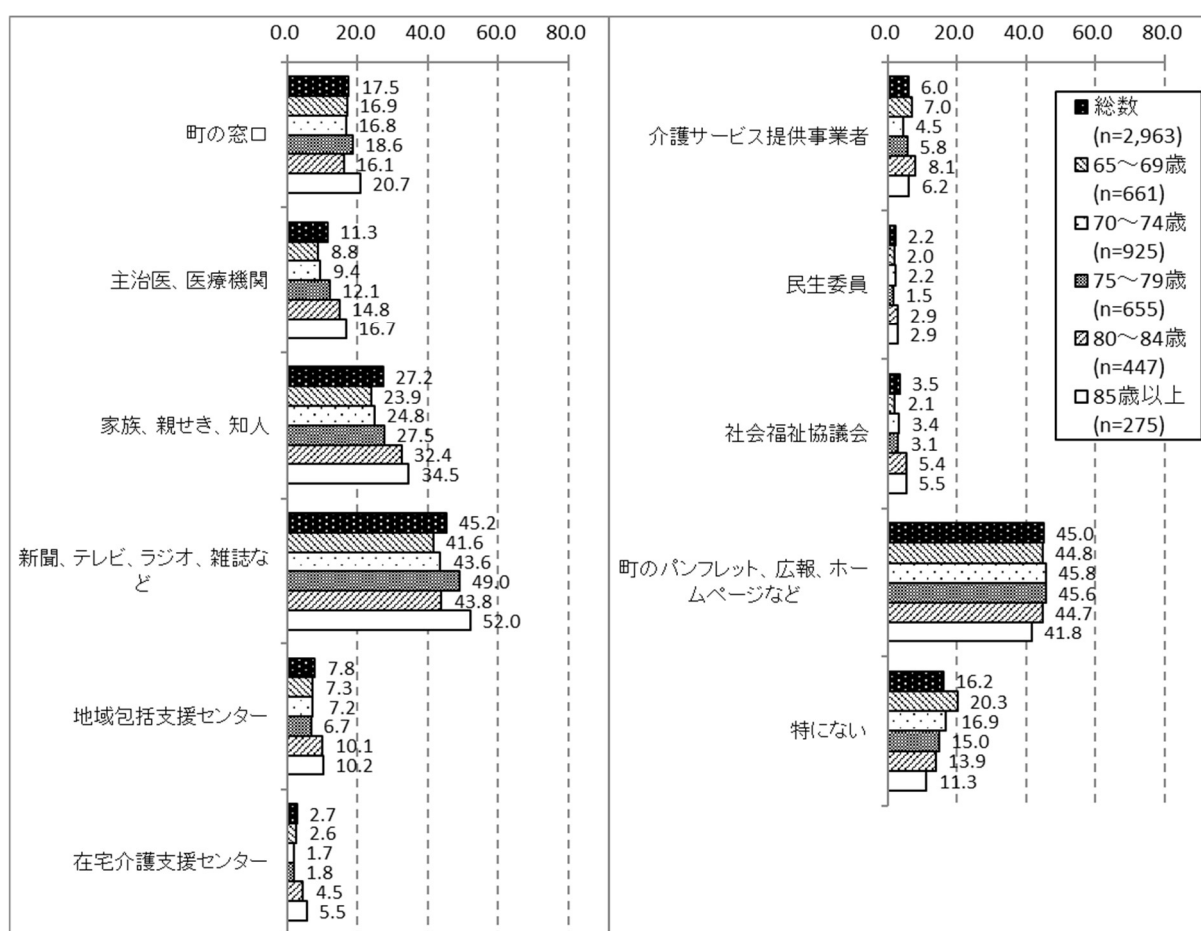


図3 介護保険制度や高齢者に対するサービスなどに関する情報をどこから得ているか

		サンプル数	町の窓口	主治医、医療機関	家族、親せき、知人	新聞、テレビ、ラジオ、雑誌など	地域包括支援センター	在宅介護支援センター
総数	人数	2,963	518	336	807	1,338	232	80
	%	100.0	17.5	11.3	27.2	45.2	7.8	2.7
65～69歳	人数	661	112	58	158	275	48	17
	%	100.0	16.9	8.8	23.9	41.6	7.3	2.6
70～74歳	人数	925	155	87	229	403	67	16
	%	100.0	16.8	9.4	24.8	43.6	7.2	1.7
75～79歳	人数	655	122	79	180	321	44	12
	%	100.0	18.6	12.1	27.5	49.0	6.7	1.8
80～84歳	人数	447	72	66	145	196	45	20
	%	100.0	16.1	14.8	32.4	43.8	10.1	4.5
85歳以上	人数	275	57	46	95	143	28	15
	%	100.0	20.7	16.7	34.5	52.0	10.2	5.5
		介護サービス提供者	民生委員	社会福祉協議会	町のパンフレット、広報など	特にない	無回答	回答計
総数	人数	179	64	104	1,334	481	134	5,607
	%	6.0	2.2	3.5	45.0	16.2	4.5	189.2
65～69歳	人数	46	13	14	296	134	16	1,187
	%	7.0	2.0	2.1	44.8	20.3	2.4	179.6
70～74歳	人数	42	20	31	424	156	41	1,671
	%	4.5	2.2	3.4	45.8	16.9	4.4	180.6
75～79歳	人数	38	10	20	299	98	28	1,251
	%	5.8	1.5	3.1	45.6	15.0	4.3	191.0
80～84歳	人数	36	13	24	200	62	29	908
	%	8.1	2.9	5.4	44.7	13.9	6.5	203.1
85歳以上	人数	17	8	15	115	31	20	590
	%	6.2	2.9	5.5	41.8	11.3	7.3	214.5

表3 介護保険制度や高齢者に対するサービスなどに関する情報をどこから得ているか

【問4】 日常会話についておうかがいします。

1日の会話の頻度は平均してどのくらいですか（電話・テレビ電話・メール等を含む）。

1日の会話の頻度は平均してどのくらいか聞いたところ、「5分未満」は5.7%、「5～15分」は11.7%、「15～30分」は13.4%、「30分～1時間」は20.0%、「1～2時間」は15.8%、「2～5時間」は18.0%、「5～10時間」は7.7%、「10時間以上」は2.2%となっている。

年齢別にみると、「5～15分」は年齢が高いほど、「2～5時間」は年齢が低いほど高くなっている。

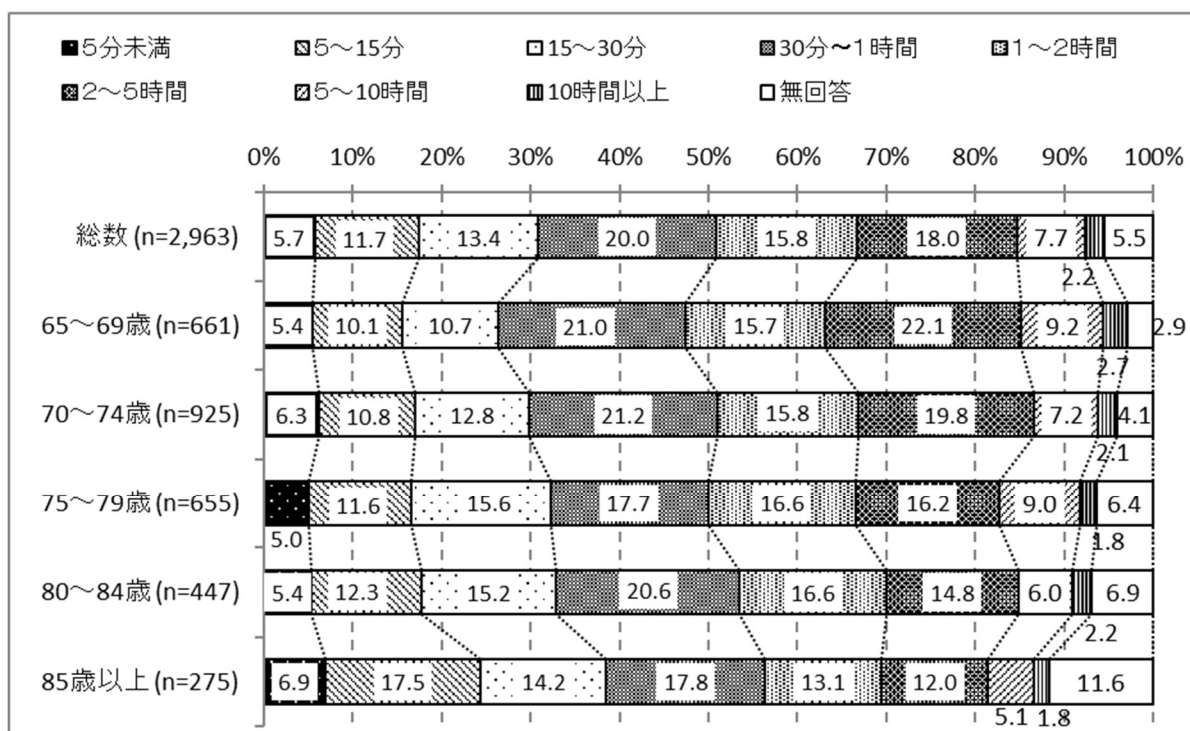


図4 1日の会話の頻度は平均してどのくらいか

		サンプル数	5分未満	5～15分	15～30分	30分～1時間	1～2時間	2～5時間	5～10時間	10時間以上	無回答
総数	人数	2,963	170	346	398	592	469	534	228	64	162
	%	100.0	5.7	11.7	13.4	20.0	15.8	18.0	7.7	2.2	5.5
65～69歳	人数	661	36	67	71	139	104.0	146.0	61.0	18.0	19
	%	100.0	5.4	10.1	10.7	21.0	15.7	22.1	9.2	2.7	2.9
70～74歳	人数	925	58	100	118	196	146.0	183.0	67.0	19.0	38
	%	100.0	6.3	10.8	12.8	21.2	15.8	19.8	7.2	2.1	4.1
75～79歳	人数	655	33	76	102	116	109	106	59	12	42
	%	100.0	5.0	11.6	15.6	17.7	16.6	16.2	9.0	1.8	6.4
80～84歳	人数	447	24	55	68	92	74	66	27	10	31
	%	100.0	5.4	12.3	15.2	20.6	16.6	14.8	6.0	2.2	6.9
85歳以上	人数	275	19	48	39	49	36	33	14	5	32
	%	100.0	6.9	17.5	14.2	17.8	13.1	12.0	5.1	1.8	11.6

表4 1日の会話の頻度は平均してどのくらいか

【問5】連絡頻度についておうかがいします。

1週間に何回連絡を取りますか。

1週間に何回連絡を取るか聞いたところ、平均は以下のとおりとなっている。

「家族に直接話す」がもっとも多く「7.9回/週」となっている。次いで、「仕事・学業関係の人に直接話す」が「4.4回/週」、「仕事・学業関係の人と電話で連絡をとる」が「3.2回/週」となっている。「親戚」以外の相手では、「直接話す」がもっとも高くなっている。

総数 (n=2,963)

	直接話す	電話	メール、LINEや フェイスブック等	その他
1. 家族	7.9回/週	2.7回/週	3.0回/週	0.3回/週
2. 親戚	1.5回/週	1.6回/週	1.6回/週	0.2回/週
3. 仕事・学業関係	4.4回/週	3.2回/週	2.6回/週	0.1回/週
4. 役場職員やお店の店員	2.3回/週	0.8回/週	0.5回/週	0.2回/週
5. 友人・知人	2.6回/週	2.2回/週	2.4回/週	0.4回/週
6. 顔見知り	2.3回/週	1.5回/週	0.9回/週	0.4回/週

表5 1週間に何回連絡を取るか

【問6】困っていること、不安に思うことの相談先として知っている機関はどこですか（あてはまるものすべてに○）。

困っていること、不安に思うことの相談先として知っている機関を挙げてもらったところ、「町の窓口」（51.8%）、「主治医、医療機関」（42.9%）などが挙げられた。

年齢別にみると、「在宅介護支援センター」、「民生委員」は「85歳以上」でやや高い。

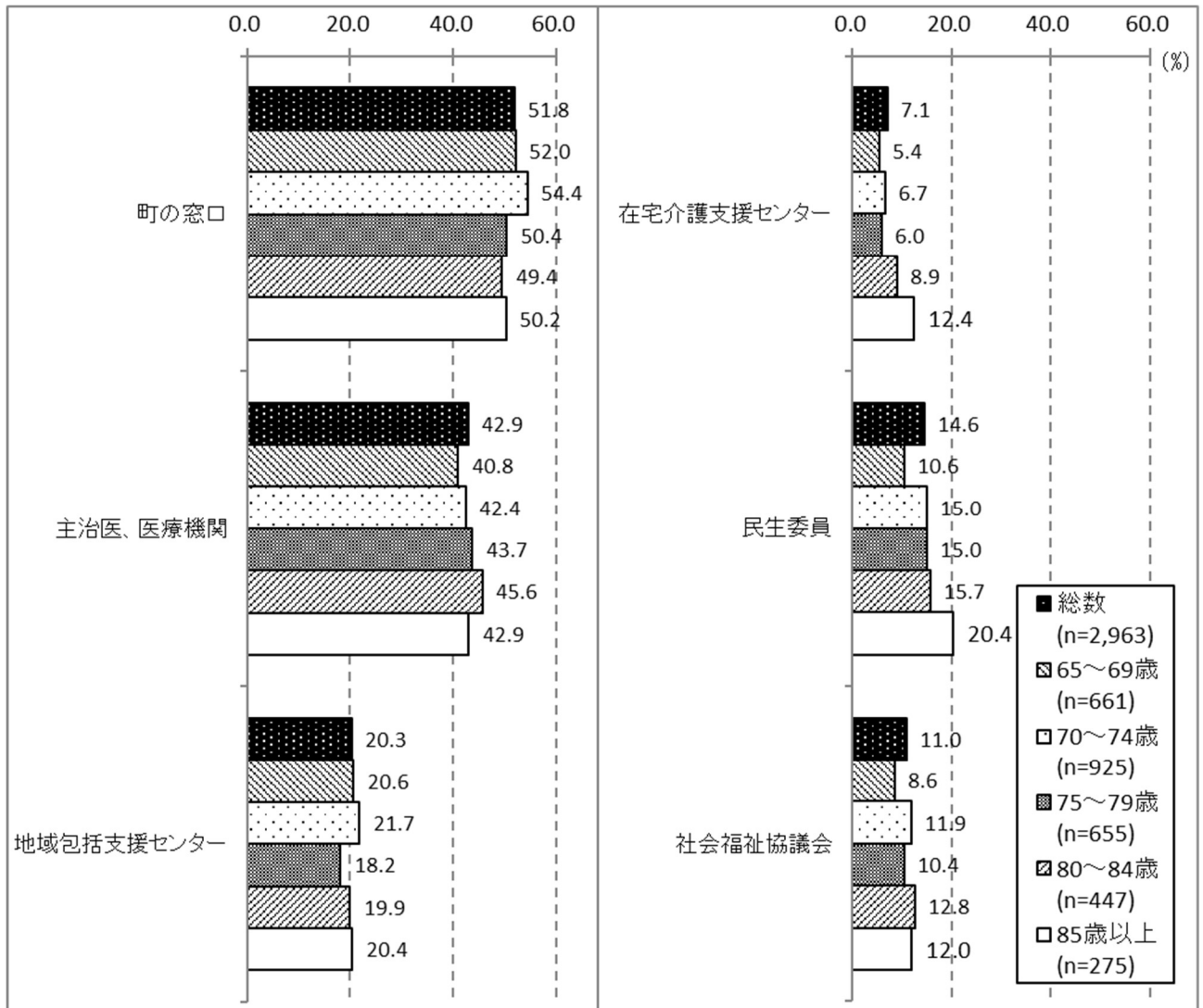


図6 困っていること、不安に思うことの相談先として知っている機関

		サンプル数	町の窓口	主治医、医療機関	地域包括支援センター	在宅介護支援センター	民生委員	社会福祉協議会	無回答	回答計
総数	人数	2,963	1,536	1,270	601	211	433	325	589	4,965
	%	100.0	51.8	42.9	20.3	7.1	14.6	11.0	19.9	167.6
65～69歳	人数	661	344	270	136	36	70	57	147	1,060
	%	100.0	52.0	40.8	20.6	5.4	10.6	8.6	22.2	160.4
70～74歳	人数	925	503	392	201	62	139	110	172	1,579
	%	100.0	54.4	42.4	21.7	6.7	15.0	11.9	18.6	170.7
75～79歳	人数	655	330	286	119	39	98	68	139	1,079
	%	100.0	50.4	43.7	18.2	6.0	15.0	10.4	21.2	164.7
80～84歳	人数	447	221	204	89	40	70	57	74	755
	%	100.0	49.4	45.6	19.9	8.9	15.7	12.8	16.6	168.9
85歳以上	人数	275	138	118	56	34	56	33	57	492
	%	100.0	50.2	42.9	20.4	12.4	20.4	12.0	20.7	178.9

表6 困っていること、不安に思うことの相談先として知っている機関